

注3 **大学番号：私224**

[平成28年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

認可

大阪人間科学大学 人間科学部 理学療法学科

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人薫英学園

令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 カチョウ 課長 ニシダ 西田 ヨシヒロ 佳弘

電話番号 06-6381-3000

（夜間） 06-6381-3000

F A X 06-6381-3502

e-mail ohs-kyomu@kun.ohs.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

人間科学部

<理学療法学科>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	16
4. 既設大学等の状況	17
5. 教員組織の状況	18
6. 附帯事項等に対する履行状況等	31
7. その他全般的事項	34

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人薫英学園

(2) 大学名

大阪人間科学大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒566-8501
大阪府摂津市正雀1丁目4番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(オガワ ミチオ) 小川 道雄 (昭和60年10月)		
学長	(キムラ ケンジ) 木村 健治 (平成25年4月)	(タナカ ヤスカズ) 田中 保和 (平成29年4月)	任期満了のため 平成29年4月1日 (29)
学部長	(ハラダ マサフミ) 原田 正文 (平成19年4月)	(スゴウチ ミツグ) 須河内 貢 (平成29年4月)	任期満了のため 平成29年4月1日 (29)
学科長等	(ヤマノ カオル) 山野 薫 (平成28年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
人間科学部 理学療法学科 学士(理学療法)	保健衛生学関係(リハビリテーション関係)	4年	60人	— 年次人	240人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	() []	() []	60 (—) [—]	(—) [—]	60 (—) [—]	(—) [—]	60 (—) [—]	(—) [—]	60 (—) [—]	(—) [—]	1.07倍	—	
志願者数	() []	() []	374 (—) [—]	(—) [—]	307 (—) [—]	(—) [—]	242 (—) [—]	(—) [—]	319 (—) [—]	(—) [—]			
受験者数	() []	() []	338 (—) [—]	(—) [—]	285 (—) [—]	(—) [—]	220 (—) [—]	(—) [—]	305 (—) [—]	(—) [—]			
合格者数	() []	() []	93 (—) [—]	(—) [—]	105 (—) [—]	(—) [—]	109 (—) [—]	(—) [—]	92 (—) [—]	(—) [—]			
B 入学者数	() []	() []	62 (—) [—]	(—) [—]	62 (—) [—]	(—) [—]	63 (—) [—]	(—) [—]	71 (—) [—]	(—) [—]			
入学定員超過率 B/A			1.03		1.03		1.05		1.18				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次			58 [—] (—)	0 [—] (—)	59 [—] (—)	0 [—] (—)	62 [—] (—)	0 [—] (—)	71 [—] (—)	0 [—] (—)	
2年次					53 [—] (—)	0 [—] (—)	59 [—] (—)	0 [—] (—)	59 [—] (—)	0 [—] (—)	
3年次							50 [—] (—)	0 [—] (—)	57 [—] (—)	0 [—] (—)	
4年次									48 [—] (—)	0 [—] (—)	
計			58 [—] (—)		112 [—] (—)		171 [—] (—)		235 [—] (—)		

- (注)
- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	0人	0人	平成27年度	0人	0人	
平成28年度	62人	5人	平成27年度	0人	0人	
			平成28年度	5人	0人	就学意欲の低下(2人)、就職(2人)、家庭の事情(1人)
平成29年度	118人	7人	平成27年度	0人	0人	
			平成28年度	4人	0人	就学意欲の低下(1人)、進路変更(3人)
			平成29年度	3人	0人	就学意欲の低下(1人)、進路変更(1人)、除籍(1人)
平成30年度	174人	5人	平成27年度	0人	0人	
			平成28年度	3人	0人	就学意欲の低下(1人)、進路変更(2人)
			平成29年度	1人	0人	家庭の事情(1人)
			平成30年度	1人	0人	進路変更(1人)
令和元年度	235人	0人	平成27年度	0人	0人	
			平成28年度	0人	0人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
合計		17人		17人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{5}{62} = \boxed{8.06} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{7}{118} = \boxed{5.93} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{5}{174} = \boxed{2.87} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{235} = \boxed{0} \%$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<人間科学部 理学療法学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手	
基礎科目	FA演習 I	1前	2				1	1	2		
	人間科学演習 I	1前	1								兼11
	人間科学演習 II	1後	1			1		1			兼12
	人間科学 I	1前		2							兼1
	人間科学 II	1後		2							兼1
	人権と倫理	1後		2							兼1
	人間関係	1前・1後		2							兼1
	安全管理	1前	2			1					
	医療倫理	1後	2								兼1
	文章表現法	1後		2							兼1
	ソーシャルマナー	1前・1後		2							兼1
	キャリアデザイン I	1前		2							兼1
	キャリアデザイン II	2後		2							兼1
	法学	1後		2							兼1
	社会学	1前		2							兼1
	地域とNPO活動	1前		2							兼1
	生活と経済	1後		2							兼1
	生活と統計	2前		2							兼1
	社会調査論	1後		2							兼1
	国際社会論	1後		2							兼1
	日本国憲法	1前・1後		2							兼1
	数学の原理	1前	2								兼1
	生物学	1後		2							兼1
	多文化共生	1後		2							兼1
	情報処理演習 I	1前		1							兼1
	情報処理演習 II	1前・1後		1							兼1
	情報処理演習 III	2後		1							兼1
	スポーツ実技 I	1通		2							兼4
	スポーツ実技 II	1通		2							兼1
	ヘルスプロモーション	1前		1							兼1
	オールワークショップ(英語) I	1前		1							兼4
	オールワークショップ(英語) II	1後		1							兼4
	コミュニケーション(英語) I	2前		1							兼1
	コミュニケーション(英語) II	2後		1							兼1
医療英語	2後		1				1				
日本語基礎	1前		2							兼1	
数学基礎	1後		2							兼1	
簿記会計	1後		2							兼1	
キャリアデザイン III	3後		2							兼1	
キャリアデザイン IV	3後		2							兼1	
FA演習 II	2前	2				1	1	2			
プレ演習	2後	2			2		1	1			
社会福祉 I	1前		2							兼1	
社会問題論	1後		2							兼1	
福祉機器論	1前		2							兼1	
ジェンダー論	2前		2							兼1	
子育てと発達支援	2後		2							兼1	

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手	
基礎科目	FA演習 I	1前	2				3	1	2	3	
	人間科学演習 I	1前	1								兼9
	人間科学演習 II	1後	1			1		1			兼12
	人間科学 I	1前		2							兼1
	人間科学 II	1後		2							兼1
	人権と倫理	1後		2							兼1
	人間関係	1前・1後		2							兼1
	安全管理	1前	2			1					
	医療倫理	1後	2								兼1
	文章表現法	1後		2							兼1
	ソーシャルマナー	1前・1後		2							兼1
	キャリアデザイン I	1前		2							兼1
	キャリアデザイン II	2後		2							兼1
	法学	1後		2							兼1
	社会学	1前		2							兼1
	地域とNPO活動	1前		2							兼1
	生活と経済	1後		2							兼1
	生活と統計	2前		2							兼1
	社会調査論	1後		2							兼1
	国際社会論	1後		2							兼1
	日本国憲法	1前・1後		2							兼1
	数学の原理	1前	2								兼1
	生物学	1後		2							兼1
	多文化共生	1後		2							兼1
	情報処理演習 I	1前		1							兼1
	情報処理演習 II	1前・1後		1							兼1
	情報処理演習 III	2後		1							兼1
	スポーツ実技 I	1通		2							兼4
	スポーツ実技 II	1通		2							兼1
	ヘルスプロモーション	1前		1							兼1
	オールワークショップ(英語) I	1前		1							兼4
	オールワークショップ(英語) II	1後		1							兼4
	コミュニケーション(英語) I	2前		1							兼1
	コミュニケーション(英語) II	2後		1							兼1
医療英語	2後		1				1				
日本語基礎	1前		2							兼1	
数学基礎	1後		2							兼1	
簿記会計	1後		2							兼1	
キャリアデザイン III	3後		2							兼1	
キャリアデザイン IV	3後		2							兼1	
FA演習 II	2前	2				2	1	1	3		
プレ演習	2後	2			2		1	1			
社会福祉 I	1前		2							兼1	
社会問題論	1後		2							兼1	
福祉機器論	1前		2							兼1	
ジェンダー論	2前		2							兼1	
子育てと発達支援	2後		2							兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	社会保障論Ⅰ	2前		2								兼1
	人間工学	2後		2								兼1
	心の科学	1前		2								兼1
	発達心理学	2前		2								兼1
	老年心理学	1後		2								兼1
	子どもの心と体	2後		2								兼1
	障害者の心理	2後		2								兼1
	高齢者の心理	2後		2								兼1
	健康心理カウンセリング入門	2前		2								兼1
	医学知識	1前・1後		2								兼1
	精神保健の課題と支援Ⅰ	2前		2								兼1
	リハビリテーション概論	1前	2			1						
	心身医学	2後		2								兼1
	精神医学	2前	2									兼1
	教育原理	1前		2								兼1
教育心理学	1後		2								兼1	
障害児教育論	1前		2								兼1	
小計(64科目)		-										
学科専門科目	解剖学Ⅰ	1前	2			1		1				
	解剖学Ⅱ	1前	2			1		1				
	解剖学演習	1後	1			1		1				
	生理学Ⅰ	1後	2			1		1	1			
	生理学Ⅱ	1後	2			1		1	1			
	生理学演習	2前	1			1		1	1			
	人間発達学	1後		2		1						
	病理学概論	2前	2									兼1
	運動発達学演習	2前	1			1						
	臨床心理学	3後		2								兼1
	リハビリテーション医学	2後	2									兼1
	内科学	2前	2									兼1
	神経内科学Ⅰ	1後	2									兼1
	神経内科学Ⅱ	2前	2									兼1
	整形外科Ⅰ	1後	2									兼1
	整形外科Ⅱ	2前	2									兼1
	小児科学	3後		2								兼1
	画像診断学	3後		2								兼1
	生化学	4後		2								兼1
	免疫学	4後		2								兼1
	分子生物学	4後		2				1				兼1
	薬理学	4後		2								兼1
	チーム医療論演習	1後	1			1						
	救急措置法演習	2後	1									兼1
	スポーツトレーニング論	3後		1		1						
	スポーツバイオメカニクス	3後		1		1						
	スポーツと健康	3前		1		1						
	スポーツ科学論	3前		1		1						
	スポーツ科学実践論	3後		1		1						
	理学療法概論	1前	2			1						
	身体運動学	1後	2				1					
	身体運動学演習	2前	1				1					
病態運動学	2後	2				1						
評価学総論	1後	2			1							
運動器系評価学演習	2前	1					1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	社会保障論Ⅰ	2前		2								兼1
	人間工学	2後		2								兼1
	心の科学	1前		2								兼1
	発達心理学	2前		2								兼1
	老年心理学	1後		2								兼1
	子どもの心と体	2後		2								兼1
	障害者の心理	2後		2								兼1
	高齢者の心理	2後		2								兼1
	健康心理カウンセリング入門	2前		2								兼1
	医学知識	1前・1後		2								兼1
	精神保健の課題と支援Ⅰ	2前		2								兼1
	リハビリテーション概論	1前	2					1				
	心身医学	2後		2								兼1
	精神医学	2前	2									兼1
	教育原理	1前		2								兼1
教育心理学	1後		2								兼1	
特別支援教育原論	1前		2								兼1	
小計(64科目)		-										
学科専門科目	解剖学Ⅰ	1前	2			1		1	1			
	解剖学Ⅱ	1前	2			1		1	1			
	解剖学演習	1後	1			1		1	1			
	生理学Ⅰ	1後	2			1		1	1			
	生理学Ⅱ	1後	2			1		1	1			
	生理学演習	2前	1			1		1	1			
	人間発達学	1後		2		1						
	病理学概論	2前	2									兼1
	運動発達学演習	2前	1			1						
	臨床心理学	3前		2								兼1
	リハビリテーション医学	2後	2									兼2
	内科学	2前	2									兼1
	神経内科学Ⅰ	1後	2									兼1
	神経内科学Ⅱ	2前	2									兼1
	整形外科Ⅰ	1後	2									兼1
	整形外科Ⅱ	2前	2									兼1
	小児科学	3後		2								兼1
	画像診断学	3後		2								兼3
	生化学	4後		2								兼1
	免疫学	4後		2								兼1
	分子生物学	4後		2					1			兼1
	薬理学	4後		2								兼1
	チーム医療論演習	1後	1			1						
	救急措置法演習	2後	1									兼1
	スポーツトレーニング論	3後		1		1						
	スポーツバイオメカニクス	3後		1		1						
	スポーツと健康	3前		1		1						
	スポーツ科学論	3前		1		1						
	スポーツ科学実践論	3後		1		1						
	理学療法概論	1前	2			1						
	身体運動学	1後	2				1					
	身体運動学演習	2前	1				1					
病態運動学	2後	2				1						
評価学総論	1後	2			1					1		
運動器系評価学演習	2前	1							1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学科専門科目	神経系・循環器系評価学演習	2後	1						1			兼1
	評価学総合演習	3前	1			1						
	応用評価学演習	3前		1			1					
	運動療法学総論	2前	2			1						
	運動器障害理学療法学	2前	2			1						
	運動器障害理学療法学演習	2後	1			1						
	生活環境論	2後		2		1						
	物理療法学	3前	2			1						
	物理療法学演習	3後	1			1						
	スポーツ傷害学演習	3前		1								
	生活技術学演習	3前	1			1						
	脊髄障害理学療法学	2後	2			1						
	脊髄障害理学療法学演習	3前	1			1						
	神経系障害理学療法学	2後	2			1						
	神経系障害理学療法学演習	3前	1			1						
	発達障害理学療法学	2後	2			1						
	発達障害理学療法学演習	3前	1			1						
	応用発達障害理学療法学演習	3後		1		1						
	呼吸・循環障害理学療法学	2後	2						1			
	呼吸・循環障害理学療法学演習	3前	1						1			
	義肢装具学	2前	2			1						
	義肢装具学演習	2後	1			1						
	高齢者理学療法学	3前	2			1						
	地域理学療法学	3後	2			1						
	理学療法学実習Ⅰ	2前	1			6	1	2	3	1		
	臨床実習前学内演習	3前	1				1	1	1			
	理学療法学実習Ⅱ	3後	3			6	1	2	3	1		
	理学療法学実習Ⅲ	4前	14			6	1	2	3	1		
	理学療法学演習ⅠA	3前	2			6	1	2	3			
	理学療法学演習ⅠB	3後	2			6	1	2	3			
理学療法学演習Ⅱ	4後	4			6	1	2	3				
小計(66科目)	-											
合計(130科目)	-											
卒業要件及び履修方法												
卒業必修科目を含む基礎科目26単位以上(ただし外国語2単位を含む)、卒業必修科目を含む学科専門科目98単位以上を修得し、124単位以上を修得すること。なお、理学療法士国家試験受験資格取得を卒業要件とする。 (履修科目の登録の上限:48単位(年間:ただし、集中講義等は除く、また成績優秀者については別途8単位の履修を可とする))												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学科専門科目	神経系・循環器系評価学演習	2後	1						1			兼1
	評価学総合演習	3前	1			1						
	応用評価学演習	3前		1			1					
	運動療法学総論	2前	2			1						
	運動器障害理学療法学	2前	2			1			1			
	運動器障害理学療法学演習	2後	1			1			1			
	生活環境論	2後		2		1						
	物理療法学	3前	2			1						
	物理療法学演習	3後	1			1						
	スポーツ傷害学演習	3前		1								
	生活技術学演習	3前	1			1						
	脊髄障害理学療法学	2後	2			1			1			
	脊髄障害理学療法学演習	3前	1			1			1			
	神経系障害理学療法学	2後	2			1						
	神経系障害理学療法学演習	3前	1			1						
	発達障害理学療法学	2後	2			1						
	発達障害理学療法学演習	3前	1			1						
	応用発達障害理学療法学演習	3後		1		1						
	呼吸・循環障害理学療法学	2後	2							1		
	呼吸・循環障害理学療法学演習	3前	1							1		
	義肢装具学	2前	2			1						
	義肢装具学演習	2後	1			1						
	高齢者理学療法学	3前	2			1						
	地域理学療法学	3後	2			1						
	理学療法学実習Ⅰ	2前	1			6	1	2	3	1		
	臨床実習前学内演習	3前	1				1	1	1			
	理学療法学実習Ⅱ	3後	3			6	1	2	3	1		
	理学療法学実習Ⅲ	4前	14			6	1	2	3	1		
	理学療法学演習ⅠA	3前	2			6	1	2	3			
	理学療法学演習ⅠB	3後	2			6	1	2	3			
理学療法学演習Ⅱ	4後	4			6	1	2	3				
小計(66科目)	-											
合計(130科目)	-											
卒業要件及び履修方法												
卒業必修科目を含む基礎科目26単位以上(ただし外国語2単位を含む)、卒業必修科目を含む学科専門科目98単位以上を修得し、124単位以上を修得すること。なお、理学療法士国家試験受験資格取得を卒業要件とする。 (履修科目の登録の上限:48単位(年間:ただし、集中講義等は除く、また成績優秀者については別途8単位の履修を可とする))												

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎科目	FA演習 I	1前	2				1	1	2		
	人間科学演習 I	1前	1								兼11
	人間科学演習 II	1後	1			1		1			兼12
	人間科学 I	1前	2								兼1
	人間科学 II	1後	2								兼1
	人権と倫理	1後	2								兼1
	人間関係	1前・1後	2								兼1
	安全管理	1前	2			1					
	医療倫理	1後	2								兼1
	文章表現法	1後	2								兼1
	ソーシャルマナー	1前・1後	2								兼1
	キャリアデザイン I	1前	2								兼1
	キャリアデザイン II	2後	2								兼1
	法学	1後	2								兼1
	社会学	1前	2								兼1
	地域とNPO活動	1前	2								兼1
	生活と経済	1後	2								兼1
	生活と統計	2前	2								兼1
	社会調査論	1後	2								兼1
	国際社会論	1後	2								兼1
	日本国憲法	1前・1後	2								兼1
	数学の原理	1前	2								兼1
	生物学	1後	2								兼1
	多文化共生	1後	2								兼1
	情報処理演習 I	1前	1								兼1
	情報処理演習 II	1前・1後	1								兼1
	情報処理演習 III	2後	1								兼1
	スポーツ実技 I	1通	2								兼4
	スポーツ実技 II	1通	2								兼1
	ヘルスプロモーション	1前	1								兼1
	オーラルワークショップ(英語) I	1前	1								兼3
	オーラルワークショップ(英語) II	1後	1								兼3
	コミュニケーション(英語) I	2前	1								兼1
	コミュニケーション(英語) II	2後	1								兼1
医療英語	2後	1					1				
日本語基礎	1前	2								兼1	
数学基礎	1後	2								兼1	
簿記会計	1後	2								兼1	
キャリアデザイン III	3後	2								兼1	
キャリアデザイン IV	3後	2								兼1	
FA演習 II	2前	2				1	1	2			
プレ演習	2後	2			2		1	1			
社会福祉 I	1前	2								兼1	
社会問題論	1後	2								兼1	
福祉機器論	1前	2								兼1	
ジェンダー論	2前	2								兼1	
子育てと発達支援	2後	2								兼1	

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎科目	FA演習 I	1前	2			1	1	1	3		
	人間科学演習 I	1前	1								兼10
	人間科学演習 II	1後	1			1		1			兼12
	人間科学 I	1前	2								兼1
	人間科学 II	1後	2								兼1
	人権と倫理	1後	2								兼1
	人間関係	1前・1後	2								兼1
	安全管理	1前	2			1					
	医療倫理	1後	2								兼1
	文章表現法	1後	2								兼1
	ソーシャルマナー	1前・1後	2								兼1
	キャリアデザイン I	1前	2								兼1
	キャリアデザイン II	2後	2								兼1
	法学	1後	2								兼1
	社会学	1前	2								兼1
	地域とNPO活動	1前	2								兼1
	生活と経済	1後	2								兼1
	生活と統計	2前	2								兼1
	社会調査論	1後	2								兼1
	国際社会論	1後	2								兼1
	日本国憲法	1前・1後	2								兼1
	数学の原理	1前	2								兼1
	生物学	1後	2								兼1
	多文化共生	1後	2								兼1
	情報処理演習 I	1前	1								兼1
	情報処理演習 II	1前・1後	1								兼1
	情報処理演習 III (未開講)	2後	1								兼1
	スポーツ実技 I	1通	2								兼4
	スポーツ実技 II	1通	2								兼1
	ヘルスプロモーション	1前	1								兼1
	オーラルワークショップ(英語) I	1前	1								兼3
	オーラルワークショップ(英語) II	1後	1								兼3
	コミュニケーション(英語) I	2前	1								兼1
	コミュニケーション(英語) II	2後	1								兼1
医療英語	2後	1					1				
日本語基礎	1前	2								兼1	
数学基礎	1後	2								兼1	
簿記会計	1後	2								兼1	
キャリアデザイン III	3後	2								兼1	
キャリアデザイン IV	3後	2								兼1	
FA演習 II	2前	2				1	1	1	3		
プレ演習	2後	2			2		1	1			
社会福祉 I	1前	2								兼1	
社会問題論	1後	2								兼1	
福祉機器論	1前	2								兼1	
ジェンダー論	2前	2								兼1	
子育てと発達支援	2後	2								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	社会保障論 I	2前		2								兼1
	人間工学	2後		2								兼1
	心の科学	1前		2								兼1
	発達心理学	2前		2								兼1
	老年心理学	1後		2								兼1
	子どもの心と体	2後		2								兼1
	障害者の心理	2後		2								兼1
	高齢者の心理	2後		2								兼1
	健康心理カウンセリング入門	2前		2								兼1
	医学知識	1前・1後		2								兼1
	精神保健の課題と支援 I	2前		2								兼1
	リハビリテーション概論	1前	2			1						
	心身医学	2後		2								兼1
	精神医学	2前	2									兼1
	教育原理	1前		2								兼1
教育心理学	1後		2								兼1	
障害児教育論	1前		2								兼1	
小計(64科目)		-										
学科専門科目	解剖学 I	1前	2			1		1				
	解剖学 II	1前	2			1		1				
	解剖学演習	1後	1			1		1				
	生理学 I	1後	2			1		1	1			
	生理学 II	1後	2			1		1	1			
	生理学演習	2前	1			1		1	1			
	人間発達学	1後		2		1						
	病理学概論	2前	2									兼1
	運動発達学演習	2前	1			1						
	臨床心理学	3後		2								兼1
	リハビリテーション医学	2後	2									兼1
	内科学	2前	2									兼1
	神経内科学 I	1後	2									兼1
	神経内科学 II	2前	2									兼1
	整形外科 I	1後	2									兼1
	整形外科 II	2前	2									兼1
	小児科学	3後		2								兼1
	画像診断学	3後		2								兼1
	生化学	4後		2								兼1
	免疫学	4後		2								兼1
	分子生物学	4後		2				1				兼1
	薬理学	4後		2								兼1
	チーム医療論演習	1後	1			1						
	救急措置法演習	2後	1									兼1
	スポーツトレーニング論	3後		1		1						
	スポーツバイオメカニクス	3後		1		1						
	スポーツと健康	3前		1		1						
	スポーツ科学論	3前		1		1						
	スポーツ科学実践論	3後		1		1						
	理学療法概論	1前	2			1						
	身体運動学	1後	2				1					
	身体運動学演習	2前	1				1					
病態運動学	2後	2				1						
評価学総論	1後	2			1							
運動器系評価学演習	2前	1					1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	社会保障論 I	2前		2								兼1
	人間工学	2後		2								兼1
	心の科学	1前		2								兼1
	発達心理学	2前		2								兼1
	老年心理学	1後		2								兼1
	子どもの心と体	2後		2								兼1
	障害者の心理	2後		2								兼1
	高齢者の心理	2後		2								兼1
	健康心理カウンセリング入門	2前		2								兼1
	医学知識	1前・1後		2								兼1
	精神保健の課題と支援 I	2前		2								兼1
	リハビリテーション概論	1前	2					1				
	心身医学	2後		2								兼1
	精神医学	2前	2									兼1
	教育原理	1前		2								兼1
教育心理学	1後		2								兼1	
障害児教育論	1前		2								兼1	
小計(64科目)		-										
学科専門科目	解剖学 I	1前	2			1		1				
	解剖学 II	1前	2			1		1				
	解剖学演習	1後	1			1		1	1			
	生理学 I	1後	2			1		1	1			
	生理学 II	1後	2			1		1	1			
	生理学演習	2前	1			1		1	1			
	人間発達学	1後		2		1						
	病理学概論	2前	2									兼1
	運動発達学演習	2前	1			1						
	臨床心理学	3後		2								兼1
	リハビリテーション医学	2後	2									兼2
	内科学	2前	2									兼1
	神経内科学 I	1後	2									兼1
	神経内科学 II	2前	2									兼1
	整形外科 I	1後	2									兼1
	整形外科 II	2前	2									兼1
	小児科学	3後		2								兼1
	画像診断学	3後		2								兼1
	生化学	4後		2								兼1
	免疫学	4後		2								兼1
	分子生物学	4後		2					1			兼1
	薬理学	4後		2								兼1
	チーム医療論演習	1後	1			1						
	救急措置法演習	2後	1									兼1
	スポーツトレーニング論	3後		1		1						
	スポーツバイオメカニクス	3後		1		1						
	スポーツと健康	3前		1		1						
	スポーツ科学論	3前		1		1						
	スポーツ科学実践論	3後		1		1						
	理学療法概論	1前	2			1						
	身体運動学	1後	2					1				
	身体運動学演習	2前	1					1				
病態運動学	2後	2					1					
評価学総論	1後	2			1							
運動器系評価学演習	2前	1						1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学科専門科目	神経系・循環器系評価学演習	2後	1						1			兼1
	評価学総合演習	3前	1			1						
	応用評価学演習	3前		1			1					
	運動療法学総論	2前	2			1						
	運動器障害理学療法学	2前	2			1						
	運動器障害理学療法学演習	2後	1			1						
	生活環境論	2後		2		1						
	物理療法学	3前	2			1						
	物理療法学演習	3後	1			1						
	スポーツ傷害学演習	3前		1								
	生活技術学演習	3前	1			1						
	脊髄障害理学療法学	2後	2			1						
	脊髄障害理学療法学演習	3前	1			1						
	神経系障害理学療法学	2後	2			1						
	神経系障害理学療法学演習	3前	1			1						
	発達障害理学療法学	2後	2			1						
	発達障害理学療法学演習	3前	1			1						
	応用発達障害理学療法学演習	3後		1		1						
	呼吸・循環障害理学療法学	2後	2						1			
	呼吸・循環障害理学療法学演習	3前	1						1			
	義肢装具学	2前	2			1						
	義肢装具学演習	2後	1			1						
	高齢者理学療法学	3前	2			1						
	地域理学療法学	3後	2			1						
	理学療法学実習Ⅰ	2前	1			6	1	2	3	1		
	臨床実習前学内演習	3前	1				1	1	1			
	理学療法学実習Ⅱ	3後	3			6	1	2	3	1		
	理学療法学実習Ⅲ	4前	14			6	1	2	3	1		
	理学療法学演習ⅠA	3前	2			6	1	2	3			
	理学療法学演習ⅠB	3後	2			6	1	2	3			
理学療法学演習Ⅱ	4後	4			6	1	2	3				
小計(66科目)	-											
合計(130科目)	-											
卒業要件及び履修方法												
卒業必修科目を含む基礎科目26単位以上(ただし外国語2単位を含む)、卒業必修科目を含む学科専門科目98単位以上を修得し、124単位以上を修得すること。なお、理学療法士国家試験受験資格取得を卒業要件とする。 (履修科目の登録の上限:48単位(年間:ただし、集中講義等は除く、また成績優秀者については別途8単位の履修を可とする))												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学科専門科目	神経系・循環器系評価学演習	2後	1						1			兼1
	評価学総合演習	3前	1			1						
	応用評価学演習	3前		1			1					
	運動療法学総論	2前	2			1						
	運動器障害理学療法学	2前	2			1			1			
	運動器障害理学療法学演習	2後	1			1			1			
	生活環境論	2後		2		1						
	物理療法学	3前	2			1						
	物理療法学演習	3後	1			1						
	スポーツ傷害学演習	3前		1								
	生活技術学演習	3前	1			1						
	脊髄障害理学療法学	2後	2			1						
	脊髄障害理学療法学演習	3前	1			1						
	神経系障害理学療法学	2後	2			1						
	神経系障害理学療法学演習	3前	1			1						
	発達障害理学療法学	2後	2			1						
	発達障害理学療法学演習	3前	1			1						
	応用発達障害理学療法学演習	3後		1		1						
	呼吸・循環障害理学療法学	2後	2							1		
	呼吸・循環障害理学療法学演習	3前	1							1		
	義肢装具学	2前	2			1						
	義肢装具学演習	2後	1			1						
	高齢者理学療法学	3前	2			1						
	地域理学療法学	3後	2			1						
	理学療法学実習Ⅰ	2前	1			6	1	2	3	1		
	臨床実習前学内演習	3前	1				1	1	1			
	理学療法学実習Ⅱ	3後	3			6	1	2	3	1		
	理学療法学実習Ⅲ	4前	14			6	1	2	3	1		
	理学療法学演習ⅠA	3前	2			6	1	2	3			
	理学療法学演習ⅠB	3後	2			6	1	2	3			
理学療法学演習Ⅱ	4後	4			6	1	2	3				
小計(66科目)	-											
合計(130科目)	-											
卒業要件及び履修方法												
卒業必修科目を含む基礎科目26単位以上(ただし外国語2単位を含む)、卒業必修科目を含む学科専門科目98単位以上を修得し、124単位以上を修得すること。なお、理学療法士国家試験受験資格取得を卒業要件とする。 (履修科目の登録の上限:48単位(年間:ただし、集中講義等は除く、また成績優秀者については別途8単位の履修を可とする))												

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎科目	FA演習Ⅰ	1前	2			2	1	1	3		
	人間科学演習Ⅰ	1前	1								兼9
	人間科学演習Ⅱ	1後	1			1		1			兼12
	人間科学Ⅰ	1前		2							兼1
	人間科学Ⅱ	1後		2							兼1
	人権と倫理	1後		2							兼1
	人間関係	1前・1後		2							兼1
	安全管理	1前	2			1					
	医療倫理	1後	2								兼1
	文章表現法	1後		2							兼1
	ソーシャルマナー	1前・1後		2							兼1
	キャリアデザインⅠ	1前		2							兼1
	キャリアデザインⅡ	2後		2							兼1
	法学	1後		2							兼1
	社会学	1前		2							兼1
	地域とNPO活動	1前		2							兼1
	生活と経済	1後		2							兼1
	生活と統計	2前		2							兼1
	社会調査論	1後		2							兼1
	国際社会論	1後		2							兼1
	日本国憲法	1前・1後		2							兼1
	数学の原理	1前	2								兼1
	生物学	1後		2							兼1
	多文化共生	1後		2							兼1
	情報処理演習Ⅰ	1前		1							兼1
	情報処理演習Ⅱ	1前・1後		1							兼1
	情報処理演習Ⅲ (未開講)	2後		1							兼1
	スポーツ実技Ⅰ	1通		2							兼4
	スポーツ実技Ⅱ	1通		2							兼1
	ヘルスプロモーション	1前		1							兼1
	オールワークショップ (英語)Ⅰ	1前		1							兼3
	オールワークショップ (英語)Ⅱ	1後		1							兼3
	コミュニケーション (英語)Ⅰ	2前		1							兼1
	コミュニケーション (英語)Ⅱ	2後		1							兼1
	医療英語	2後		1				1			
	日本語基礎	1前		2							兼1
	数学基礎	1後		2							兼1
	簿記会計	1後		2							兼1
	キャリアデザインⅢ	3後		2							兼1
	キャリアデザインⅣ	3後		2							兼1
FA演習Ⅱ	2前	2			1	1	1	3			
プレ演習	2後	2			2		1	1			
社会福祉Ⅰ	1前		2							兼1	
社会問題論	1後		2							兼1	
福祉機器論	1前		2							兼1	
ジェンダー論	2前		2							兼1	
子育てと発達支援	2後		2							兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	社会保障論Ⅰ	2前		2								兼1
	人間工学	2後		2								兼1
	心の科学	1前		2								兼1
	発達心理学	2前		2								兼1
	老年心理学	1後		2								兼1
	子どもの心と体	2後		2								兼1
	障害者の心理	2後		2								兼1
	高齢者の心理	2後		2								兼1
	健康心理カウンセリング入門	2前		2								兼1
	医学知識	1前・1後		2								兼1
	精神保健の課題と支援Ⅰ	2前		2								兼1
	リハビリテーション概論	1前	2			1						
	心身医学	2後		2								兼1
	精神医学	2前	2									兼1
	教育原理	1前		2								兼1
	教育心理学	1後		2								兼1
	障害児教育論	1前		2								兼1
	小計(64科目)	-										
学科専門科目	解剖学Ⅰ	1前	2			1		1	1			
	解剖学Ⅱ	1前	2			1		1	1			
	解剖学演習	1後	1			1		1	1			
	生理学Ⅰ	1後	2			1		1	1			
	生理学Ⅱ	1後	2			1		1	1			
	生理学演習	2前	1			1		1	1			
	人間発達学	1後		2		1						
	病理学概論	2前	2									兼1
	運動発達学演習	2前	1			1						
	臨床心理学	3前		2								兼1
	リハビリテーション医学	2後	2									兼2
	内科学	2前	2									兼1
	神経内科学Ⅰ	1後	2									兼1
	神経内科学Ⅱ	2前	2									兼1
	整形外科Ⅰ	1後	2									兼1
	整形外科Ⅱ	2前	2									兼1
	小児科学	3後		2								兼1
	画像診断学	3後		2								兼3
	生化学	4後		2								兼1
	免疫学	4後		2								兼1
	分子生物学	4後		2				1				
	薬理学	4後		2								兼1
	チーム医療論演習	1後	1			1						
	救急措置法演習	2後	1									兼1
	スポーツトレーニング論	3後		1		1						
	スポーツバイオメカニクス	3後		1		1						
	スポーツと健康	3前		1		1						
	スポーツ科学論	3前		1		1						
	スポーツ科学実践論	3後		1		1						
	理学療法概論	1前	2			1						
	身体運動学	1後	2				1					
	身体運動学演習	2前	1				1					
	病態運動学	2後	2				1					
	評価学総論	1後	2			1			1			
運動器系評価学演習	2前	1					1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学科専門科目	神経系・循環器系評価学演習	2後	1							1		
	評価学総合演習	3前	1			1						
	応用評価学演習	3前		1			1					
	運動療法学総論	2前	2			1						
	運動器障害理学療法学	2前	2			1						
	運動器障害理学療法学演習	2後	1			1		1				
	生活環境論	2後		2		1						
	物理療法学	3前	2			1						
	物理療法学演習	3後	1			1						
	スポーツ傷害学演習	3前		1								兼1
	生活技術学演習	3前	1			1						
	脊髄障害理学療法学	2後	2			1	1					
	脊髄障害理学療法学演習	3前	1			1	1					
	神経系障害理学療法学	2後	2			1						
	神経系障害理学療法学演習	3前	1			1						
	発達障害理学療法学	2後	2			1						
	発達障害理学療法学演習	3前	1			1						
	応用発達障害理学療法学演習	3後		1		1						
	呼吸・循環障害理学療法学	2後	2							1		
	呼吸・循環障害理学療法学演習	3前	1							1		
	義肢装具学	2前	2			1						
	義肢装具学演習	2後	1			1						
	高齢者理学療法学	3前	2			1						
	地域理学療法学	3後	2			1						
	理学療法学実習Ⅰ	2前	1			6	1	2	3	1		
	臨床実習前学内演習	3前	1				1	1	1			
	理学療法学実習Ⅱ	3後	3			6	1	2	3	1		
	理学療法学実習Ⅲ	4前	14			6	1	2	3	1		
	理学療法学演習ⅠA	3前	2			6	1	2	3			
	理学療法学演習ⅠB	3後	2			6	1	2	3			
	理学療法学演習Ⅱ	4後	4			6	1	2	3			
	小計(66科目)	-										
	合計(130科目)	-										
	卒業要件及び履修方法											
	卒業必修科目を含む基礎科目26単位以上(ただし外国語2単位を含む)、卒業必修科目を含む学科専門科目98単位以上を修得し、124単位以上を修得すること。なお、理学療法士国家試験受験資格取得を卒業要件とする。 (履修科目の登録の上限:48単位(年間:ただし、集中講義等は除く、また成績優秀者については別途8単位の履修を可とする))											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成28年度】

- ・「オールワークショップ（英語）Ⅰ」「オールワークショップ（英語）Ⅱ」の兼任教員の配置を「兼4」から「兼3」に変更。

【平成29年度】

- ・教育体制の充実のために「FA演習Ⅰ」「FA演習Ⅱ」の専任教員の配置を「教授0」から「教授1」に、「助教2」から「助教3」に変更。
- ・教育体制の充実のために「解剖学演習」の専任教員の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・「人間科学演習Ⅰ」の兼任教員の配置を「兼11」から「兼10」に変更。
- ・「リハビリテーション医学」の兼任教員の配置を「兼1」から「兼2」に変更。

【平成30年度】

- ・教育体制の充実のために「FA演習Ⅰ」の専任教員の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・教育体制の充実のために「解剖学Ⅰ」「解剖学Ⅱ」の専任教員の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・教育体制の充実のために「脊髄障害理学療法学」「脊髄障害理学療法学演習」の専任教員の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・「臨床心理学」の配当年次を「3後」から「3前」に変更。
- ・「人間科学演習Ⅰ」の兼任教員の配置を「兼10」から「兼9」に変更。
- ・「人間科学演習Ⅱ」の兼任教員の配置を「兼12」から「兼11」に変更。
- ・「画像診断学」の兼任教員の配置を「兼1」から「兼3」に変更。

【令和元年度】

- ・教育体制の充実のために「FA演習Ⅰ」の専任教員の配置を「教授2」から「教授3」に、「講師1」から「講師2」に変更。
- ・教育体制の充実のために「FA演習Ⅱ」の専任教員の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・教育体制の充実のために「評価学総論」の専任教員の配置を「助教0」から「助教1」に変更。（平成30年度後期から変更適用）
- ・教育体制の充実のために「運動器障害理学療法学」の専任教員の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・教育体制の充実のために「運動器障害理学療法学演習」の専任教員の配置を「講師0」から「講師1」に変更。（平成30年度後期から変更適用）
- ・基礎科目において、他学科の教職課程再課程認定により、授業科目の名称を「障害児教育論」から「特別支援教育原論」に変更。
- ・「人間科学演習Ⅱ」の兼任教員の配置を「兼11」から「兼12」に変更。（平成30年度後期から変更適用）
- ・「オールワークショップ（英語）Ⅰ」「オールワークショップ（英語）Ⅱ」の兼任教員の配置を「兼3」から「兼4」に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
59 科目	71 科目	0 科目	130 科目	59 科目 [0]	71 科目 [0]	0 科目 [0]	130 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{130} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	7,774.34㎡	0㎡	0㎡	7,774.34㎡				
	運動場用地	15,710.80㎡	0㎡	0㎡	15,710.80㎡				
	小 計	23,485.14㎡	0㎡	0㎡	23,485.14㎡				
	そ の 他	21,190.55㎡	0㎡	0㎡	21,190.55㎡				
	合 計	44,675.69㎡	0㎡	0㎡	44,675.69㎡				
(2) 校 舎		専 用 25,004.06㎡ (25,004.06㎡)	共 用 0㎡ (0㎡)	共用する他の学校等の専用 0㎡ (0㎡)	計 25,004.06㎡ (25,004.06㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室 31室	演 習 室 14室	実験実習室 52室	情報処理学習施設 3室 (補助職員 0人)	語学学習施設 0室 (補助職員 0人)	大学全体			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称 人間科学部 理学療法学科			室 数 15 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書については分冊されたものがあり所蔵図書数に変更が生じた。(30) 図書については平成28年度上半期中に当初計画通り整備する予定である。(28)	
	人間科学部 理学療法学科	1332〔124〕 1320〔120〕 (1320〔120〕) (975〔75〕)	25〔5〕 (25〔5〕)	1〔1〕 (1〔1〕)	8 (8)	864 (864)	43 (43)		
	計	1332〔124〕 1320〔120〕 (1320〔120〕) (975〔75〕)	25〔5〕 (25〔5〕)	1〔1〕 (1〔1〕)	8 (8)	864 (864)	43 (43)		
(6) 図 書 館	面 積 954.5㎡	閱 覧 座 席 数 214	収 納 可 能 冊 数 100000	大学全体					
(7) 体 育 館	面 積 1,377.1㎡	体育館以外のスポーツ施設の概要 野球場1面 テニスコート4面							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書費にはデータベース1の整備費を含む
		教員1人当たり研究費等	480千円	480千円	図書購入費	10,200千円	5,600千円	0千円	
		共同研究費等	1,000千円	1,000千円	設備購入費	140,001千円	0千円	0千円	
	学生1人当たり納付金	第1年次 1,750千円	第2年次 1,550千円	第3年次 1,550千円	第4年次 1,550千円	第5年次 一 千円	第6年次 一 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常費補助金、雑収入 等							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	大阪人間科学大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
人間科学部	4	500	3年次 0	2000		0.80	-	平成13	大阪府摂津市正雀1丁目4番1号	
社会福祉学科	4	95	3年次 0	380	学士 (社会福祉学)	0.69	-	平成13	大阪府摂津市正雀1丁目4番1号	
医療福祉学科	4	80	-	320	学士 (医療福祉学)	0.73	-	平成24	大阪府摂津市正雀1丁目4番1号	
介護福祉専攻	4	40	-	160	学士 (医療福祉学)	0.64	-	平成24	大阪府摂津市正雀1丁目4番1号	
視能訓練専攻	4	40	-	160	学士 (医療福祉学)	0.82	-	平成24	大阪府摂津市正雀1丁目4番1号	
子ども保育学科	4	95	3年次 0	380	学士 (子ども保育学)	0.62	-	平成24	大阪府摂津市正雀1丁目4番1号	
健康心理学科	4	90	3年次 0	360	学士 (心理学)	0.84	-	平成17	大阪府摂津市正雀1丁目4番1号	
医療心理学科	4	80	-	320	学士 (医療心理学)	1.00	-	平成24	大阪府摂津市正雀1丁目4番1号	
臨床発達心理専攻	4	40	-	160	学士 (医療心理学)	1.04	-	平成24	大阪府摂津市正雀1丁目4番1号	
言語聴覚専攻	4	40	-	160	学士 (医療心理学)	0.96	-	平成24	大阪府摂津市正雀1丁目4番1号	
理学療法学科	4	60	-	240	学士 (理学療法学)	1.07	-	平成28	大阪府摂津市正雀1丁目4番1号	
大学全体	4	500	3年次 0	2000		0.80		平成13	大阪府摂津市正雀1丁目4番1号	
大学の名称	大阪人間科学大学大学院									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
人間科学研究科	2	10	-	20	修士 (人間科学)	0.65	-	平成18	大阪府摂津市正雀1丁目4番1号	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<人間科学部 理学療法学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			
専	教授 (学科長)	ヤマノ カオル 山野 薫 (50) <平成28年4月> 博士(保健医療学)	専	教授 (学科長)	ヤマノ カオル 山野 薫 (51) <平成28年4月> 博士(保健医療学)	専	教授 (学科長)	ヤマノ カオル 山野 薫 (52) <平成28年4月> 博士(保健医療学)	専	教授 (学科長)	ヤマノ カオル 山野 薫 (53) <平成28年4月> 博士(保健医療学)	専	教授 (学科長)	ヤマノ カオル 山野 薫 (54) <平成28年4月> 博士(保健医療学)
		安全管理 運動療法学総論 運動器障害理学療法学 運動器障害理学療法学演習 生活環境論 理学療法学実習Ⅰ 理学療法学実習Ⅱ 理学療法学実習Ⅲ 理学療法学演習ⅠA 理学療法学演習ⅠB 理学療法学演習Ⅱ			安全管理 運動療法学総論 運動器障害理学療法学 運動器障害理学療法学演習 生活環境論 理学療法学実習Ⅰ 理学療法学実習Ⅱ 理学療法学実習Ⅲ 理学療法学演習ⅠA 理学療法学演習ⅠB 理学療法学演習Ⅱ			安全管理 運動療法学総論 運動器障害理学療法学 運動器障害理学療法学演習 生活環境論 理学療法学実習Ⅰ 理学療法学実習Ⅱ 理学療法学実習Ⅲ 理学療法学演習ⅠA 理学療法学演習ⅠB 理学療法学演習Ⅱ			安全管理 運動療法学総論 運動器障害理学療法学 運動器障害理学療法学演習 生活環境論 理学療法学実習Ⅰ 理学療法学実習Ⅱ 理学療法学実習Ⅲ 理学療法学演習ⅠA 理学療法学演習ⅠB 理学療法学演習Ⅱ			
専	教授	オク トシロウ 奥 壽郎 (50) <平成29年4月> 博士(保健医療学)	専	教授	オク トシロウ 奥 壽郎 (51) <平成29年4月> 博士(保健医療学)	専	教授	オク トシロウ 奥 壽郎 (52) <平成29年4月> 博士(保健医療学)	専	教授	オク トシロウ 奥 壽郎 (53) <平成29年4月> 博士(保健医療学)	専	教授	オク トシロウ 奥 壽郎 (54) <平成29年4月> 博士(保健医療学)
		ブレ演習 評価学総合演習 物理療法学 物理療法学演習 高齢者理学療法学 地域理学療法学 理学療法学実習Ⅰ 理学療法学実習Ⅱ 理学療法学実習Ⅲ 理学療法学演習ⅠA 理学療法学演習ⅠB 理学療法学演習Ⅱ			ブレ演習 評価学総合演習 物理療法学 物理療法学演習 高齢者理学療法学 地域理学療法学 理学療法学実習Ⅰ 理学療法学実習Ⅱ 理学療法学実習Ⅲ 理学療法学演習ⅠA 理学療法学演習ⅠB 理学療法学演習Ⅱ			ブレ演習 評価学総合演習 物理療法学 物理療法学演習 高齢者理学療法学 地域理学療法学 理学療法学実習Ⅰ 理学療法学実習Ⅱ 理学療法学実習Ⅲ 理学療法学演習ⅠA 理学療法学演習ⅠB 理学療法学演習Ⅱ			ブレ演習 評価学総合演習 物理療法学 物理療法学演習 高齢者理学療法学 地域理学療法学 理学療法学実習Ⅰ 理学療法学実習Ⅱ 理学療法学実習Ⅲ 理学療法学演習ⅠA 理学療法学演習ⅠB 理学療法学演習Ⅱ			
専	教授	カタオカ ユキオ 片岡 幸雄 (71) <平成30年4月> 体育学修士	専	教授	カタオカ ユキオ 片岡 幸雄 (72) <平成30年4月> 体育学修士	専	教授	カタオカ ユキオ 片岡 幸雄 (73) <平成30年4月> 体育学修士	専	教授	カタオカ ユキオ 片岡 幸雄 (74) <平成30年4月> 体育学修士	専	教授	カタオカ ユキオ 片岡 幸雄 (75) <平成30年4月> 体育学修士
		ｽﾎｰﾄﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ論 ｽﾎｰﾄﾊﾞｲｻﾞｰｸﾞ ｽﾎｰﾄと健康 ｽﾎｰﾄ科学論 ｽﾎｰﾄ科学実践論			ｽﾎｰﾄﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ論 ｽﾎｰﾄﾊﾞｲｻﾞｰｸﾞ ｽﾎｰﾄと健康 ｽﾎｰﾄ科学論 ｽﾎｰﾄ科学実践論			ｽﾎｰﾄﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ論 ｽﾎｰﾄﾊﾞｲｻﾞｰｸﾞ ｽﾎｰﾄと健康 ｽﾎｰﾄ科学論 ｽﾎｰﾄ科学実践論			ｽﾎｰﾄﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ論 ｽﾎｰﾄﾊﾞｲｻﾞｰｸﾞ ｽﾎｰﾄと健康 ｽﾎｰﾄ科学論 ｽﾎｰﾄ科学実践論			
専	教授	スギヨ シンイチ 杉生 真一 (42) <平成28年4月> 博士(歯学)	専	教授	スギヨ シンイチ 杉生 真一 (43) <平成28年4月> 博士(歯学)	専	教授	スギヨ シンイチ 杉生 真一 (44) <平成28年4月> 博士(歯学)	専	教授	スギヨ シンイチ 杉生 真一 (45) <平成28年4月> 博士(歯学)	専	教授	スギヨ シンイチ 杉生 真一 (46) <平成28年4月> 博士(歯学)
		解剖学Ⅰ 解剖学Ⅱ 解剖学演習 生理学Ⅰ 生理学Ⅱ 生理学演習 理学療法学演習ⅠA 理学療法学演習ⅠB 理学療法学演習Ⅱ			解剖学Ⅰ 解剖学Ⅱ 解剖学演習 生理学Ⅰ 生理学Ⅱ 生理学演習 理学療法学演習ⅠA 理学療法学演習ⅠB 理学療法学演習Ⅱ			解剖学Ⅰ 解剖学Ⅱ 解剖学演習 生理学Ⅰ 生理学Ⅱ 生理学演習 理学療法学演習ⅠA 理学療法学演習ⅠB 理学療法学演習Ⅱ			解剖学Ⅰ 解剖学Ⅱ 解剖学演習 生理学Ⅰ 生理学Ⅱ 生理学演習 理学療法学演習ⅠA 理学療法学演習ⅠB 理学療法学演習Ⅱ			
専	教授	タケダ イサオ 武田 功 (74) <平成28年4月> 博士(医療福祉学)	専	教授	タケダ イサオ 武田 功 (75) <平成28年4月> 博士(医療福祉学)	専	教授	タケダ イサオ 武田 功 (76) <平成28年4月> 博士(医療福祉学)	専	教授	タケダ イサオ 武田 功 (77) <平成28年4月> 博士(医療福祉学)	専	教授	タケダ イサオ 武田 功 (78) <平成28年4月> 博士(医療福祉学)
		評価学総論 生活技術学演習 背離障害理学療法学 背離障害理学療法学演習 理学療法学実習Ⅰ 理学療法学実習Ⅱ 理学療法学実習Ⅲ			評価学総論 生活技術学演習 背離障害理学療法学 背離障害理学療法学演習 理学療法学実習Ⅰ 理学療法学実習Ⅱ 理学療法学実習Ⅲ			評価学総論 生活技術学演習 背離障害理学療法学 背離障害理学療法学演習 理学療法学実習Ⅰ 理学療法学実習Ⅱ 理学療法学実習Ⅲ			評価学総論 生活技術学演習 背離障害理学療法学 背離障害理学療法学演習 理学療法学実習Ⅰ 理学療法学実習Ⅱ 理学療法学実習Ⅲ			
専	教授	ナガクラ ユウジ 長倉 裕二 (52) <平成29年4月> 博士(保健学)	専	教授	ナガクラ ユウジ 長倉 裕二 (53) <平成29年4月> 博士(保健学)	専	教授	ナガクラ ユウジ 長倉 裕二 (54) <平成29年4月> 博士(保健学)	専	教授	ナガクラ ユウジ 長倉 裕二 (55) <平成29年4月> 博士(保健学)	専	教授	ナガクラ ユウジ 長倉 裕二 (56) <平成29年4月> 博士(保健学)
		ブレ演習 義肢装具学 義肢装具学演習 理学療法学実習Ⅰ 理学療法学実習Ⅱ 理学療法学実習Ⅲ 理学療法学演習ⅠA 理学療法学演習ⅠB 理学療法学演習Ⅱ			ブレ演習 義肢装具学 義肢装具学演習 理学療法学実習Ⅰ 理学療法学実習Ⅱ 理学療法学実習Ⅲ 理学療法学演習ⅠA 理学療法学演習ⅠB 理学療法学演習Ⅱ			ブレ演習 義肢装具学 義肢装具学演習 理学療法学実習Ⅰ 理学療法学実習Ⅱ 理学療法学実習Ⅲ 理学療法学演習ⅠA 理学療法学演習ⅠB 理学療法学演習Ⅱ			ブレ演習 義肢装具学 義肢装具学演習 理学療法学実習Ⅰ 理学療法学実習Ⅱ 理学療法学実習Ⅲ 理学療法学演習ⅠA 理学療法学演習ⅠB 理学療法学演習Ⅱ			
専	教授	ヤマカワ トモヤス 山川 友康 (68) <平成28年4月> 修士(社会学)	専	教授	ヤマカワ トモヤス 山川 友康 (69) <平成28年4月> 修士(社会学)	専	教授	ヤマカワ トモヤス 山川 友康 (70) <平成28年4月> 修士(社会学)	専	教授	ヤマカワ トモヤス 山川 友康 (71) <平成28年4月> 修士(社会学)	専	教授	ヤマカワ トモヤス 山川 友康 (72) <平成28年4月> 修士(社会学)
		リハビリテーション概論 人間発達学 運動発達学演習 発達障害理学療法学 発達障害理学療法学演習 応用発達障害理学療法学演習 理学療法学実習Ⅰ 理学療法学実習Ⅱ 理学療法学実習Ⅲ 理学療法学演習ⅠA 理学療法学演習ⅠB 理学療法学演習Ⅱ			リハビリテーション概論 人間発達学 運動発達学演習 発達障害理学療法学 発達障害理学療法学演習 応用発達障害理学療法学演習 理学療法学実習Ⅰ 理学療法学実習Ⅱ 理学療法学実習Ⅲ 理学療法学演習ⅠA 理学療法学演習ⅠB 理学療法学演習Ⅱ			リハビリテーション概論 人間発達学 運動発達学演習 発達障害理学療法学 発達障害理学療法学演習 応用発達障害理学療法学演習 理学療法学実習Ⅰ 理学療法学実習Ⅱ 理学療法学実習Ⅲ 理学療法学演習ⅠA 理学療法学演習ⅠB 理学療法学演習Ⅱ			リハビリテーション概論 人間発達学 運動発達学演習 発達障害理学療法学 発達障害理学療法学演習 応用発達障害理学療法学演習 理学療法学実習Ⅰ 理学療法学実習Ⅱ 理学療法学実習Ⅲ 理学療法学演習ⅠA 理学療法学演習ⅠB 理学療法学演習Ⅱ			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			
専	助教	ユミオカ マミ 弓岡 まみ (28) <平成28年4月> 修士(健康福祉学)	専	助教	ユミオカ マミ 弓岡 まみ (29) <平成28年4月> 修士(健康福祉学)	専	助教	ユミオカ マミ 弓岡 まみ (30) <平成28年4月> 修士(健康福祉学)	専	助教	ユミオカ マミ 弓岡 まみ (31) <平成28年4月> 修士(健康福祉学)	専	助教	ユミオカ マミ 弓岡 まみ (32) <平成28年4月> 修士(健康福祉学)
		理学療法実習Ⅰ 理学療法実習Ⅱ 理学療法実習Ⅲ 理学療法実習Ⅳ 理学療法実習Ⅴ 理学療法実習Ⅵ 理学療法実習Ⅶ			理学療法実習Ⅰ 理学療法実習Ⅱ 理学療法実習Ⅲ 理学療法実習Ⅳ 理学療法実習Ⅴ 理学療法実習Ⅵ 理学療法実習Ⅶ			理学療法実習Ⅰ 理学療法実習Ⅱ 理学療法実習Ⅲ 理学療法実習Ⅳ 理学療法実習Ⅴ 理学療法実習Ⅵ 理学療法実習Ⅶ FA演習Ⅰ FA演習Ⅱ			理学療法実習Ⅰ 理学療法実習Ⅱ 理学療法実習Ⅲ 理学療法実習Ⅳ 理学療法実習Ⅴ 理学療法実習Ⅵ 理学療法実習Ⅶ FA演習Ⅰ FA演習Ⅱ 評価学総論			理学療法実習Ⅰ 理学療法実習Ⅱ 理学療法実習Ⅲ 理学療法実習Ⅳ 理学療法実習Ⅴ 理学療法実習Ⅵ 理学療法実習Ⅶ FA演習Ⅰ FA演習Ⅱ 評価学総論
兼任	教授(学長)	キムラ ケンジ 木村 健治 (68) <平成28年4月> 文学修士 Master of Arts(米国)	兼任	教授(学長)	キムラ ケンジ 木村 健治 (69) <平成28年4月> 文学修士 Master of Arts(米国)									
		人間科学Ⅰ 人間科学Ⅱ			人間科学Ⅰ 人間科学Ⅱ									
						兼任	教授(学長)	タナカ ヤスカズ 田中 保和 (66) <平成29年4月> 工学修士	兼任	教授(学長)	タナカ ヤスカズ 田中 保和 (67) <平成29年4月> 工学修士	兼任	教授(学長)	タナカ ヤスカズ 田中 保和 (68) <平成29年4月> 工学修士
								人間科学Ⅰ 人間科学Ⅱ			人間科学Ⅰ 人間科学Ⅱ			人間科学Ⅰ 人間科学Ⅱ
兼任	教授	ハラダ マサフミ 原田 正文 (70) <平成28年4月> 理学博士	兼任	教授	ハラダ マサフミ 原田 正文 (71) <平成28年4月> 理学博士	兼任	教授	ハラダ マサフミ 原田 正文 (72) <平成28年4月> 理学博士	兼任	教授	ハラダ マサフミ 原田 正文 (73) <平成28年4月> 理学博士			
		人間関係 キャリアデザインⅢ キャリアデザインⅣ			人間関係 キャリアデザインⅢ キャリアデザインⅣ			人間関係 キャリアデザインⅢ キャリアデザインⅣ 心身医学			人間関係 キャリアデザインⅢ キャリアデザインⅣ 心身医学			
												兼任	教授	ヤマギシ マサカズ 山岸 正和 (67) <平成31年4月> 医学博士
														人間関係 キャリアデザインⅢ キャリアデザインⅣ
兼任	教授	イシイ キョウコ 石井 京子 (66) <平成28年4月> 博士(臨床教育学)	兼任	教授	イシイ キョウコ 石井 京子 (67) <平成28年4月> 博士(臨床教育学)	兼任	教授	イシイ キョウコ 石井 京子 (68) <平成28年4月> 博士(臨床教育学)	兼任	教授	イシイ キョウコ 石井 京子 (69) <平成28年4月> 博士(臨床教育学)	兼任	講師	イシイ キョウコ 石井 京子 (70) <平成28年4月> 博士(臨床教育学)
		老年心理学 健康心理カレッジ入門			老年心理学 健康心理カレッジ入門			老年心理学 健康心理カレッジ入門			健康心理カレッジ入門			健康心理カレッジ入門
									兼任	講師	オサキ カツヒコ 尾崎 勝彦 (57) <平成30年4月> 博士(人間科学)	兼任	講師	オサキ カツヒコ 尾崎 勝彦 (58) <平成30年4月> 博士(人間科学)
											老年心理学			老年心理学
兼任	教授	イノウエ センイチ 井上 千一 (60) <平成28年4月> 商学修士	兼任	教授	イノウエ センイチ 井上 千一 (61) <平成28年4月> 商学修士	兼任	教授	イノウエ センイチ 井上 千一 (62) <平成28年4月> 商学修士	兼任	教授	イノウエ センイチ 井上 千一 (63) <平成28年4月> 商学修士	兼任	教授	イノウエ センイチ 井上 千一 (64) <平成28年4月> 商学修士
		地域とNPO活動 生活と経済 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ 情報処理演習Ⅲ			地域とNPO活動 生活と経済 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ 情報処理演習Ⅲ			地域とNPO活動 生活と経済 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ 情報処理演習Ⅲ			地域とNPO活動 生活と経済 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ 情報処理演習Ⅲ			地域とNPO活動 生活と経済 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ 情報処理演習Ⅲ
兼任	教授	カトウ タカノリ 加藤 敬徳 (61) <平成29年4月> 学士(医学)	兼任	教授	カトウ タカノリ 加藤 敬徳 (62) <平成28年4月> 学士(医学)	兼任	教授	カトウ タカノリ 加藤 敬徳 (63) <平成28年4月> 学士(医学)	兼任	教授	カトウ タカノリ 加藤 敬徳 (64) <平成28年4月> 学士(医学)	兼任	教授	カトウ タカノリ 加藤 敬徳 (65) <平成28年4月> 学士(医学)
		心身医学 精神医学			心身医学 精神医学 神経内科学Ⅰ 神経内科学Ⅱ			精神医学 神経内科学Ⅰ 神経内科学Ⅱ			精神医学 神経内科学Ⅰ 神経内科学Ⅱ			精神医学 神経内科学Ⅰ 神経内科学Ⅱ 心身医学
兼任	教授	カワイ ヒサカズ 川井 久和 (51) <平成28年4月> 修士(密教学)												
		人間科学演習Ⅱ※												
			兼任	助教	オカ タカオ 岡 孝夫 (42) <平成28年4月> 心理学士	兼任	助教	オカ タカオ 岡 孝夫 (43) <平成28年4月> 心理学士	兼任	助教	オカ タカオ 岡 孝夫 (44) <平成28年4月> 心理学士	兼任	助教	オカ タカオ 岡 孝夫 (45) <平成28年4月> 心理学士
					人間科学演習Ⅱ※			人間科学演習Ⅱ※			人間科学演習Ⅱ※			人間科学演習Ⅱ※
兼任	教授	キムラ カズヤ 木村 和也 (67) <平成28年4月> 文学学士												
		文章表現法 日本語基礎												
			兼任	講師	キタノ ヒトシ 北野 等 (68) <平成28年4月> 文学修士	兼任	講師	キタノ ヒトシ 北野 等 (69) <平成28年4月> 文学修士						
					文章表現法 日本語基礎			文章表現法 日本語基礎						
									兼任	教授	ミヤザキ サトシ 宮崎 佐利 (60) <平成30年4月> 教育学士	兼任	教授	ミヤザキ サトシ 宮崎 佐利 (61) <平成30年4月> 教育学士
											文章表現法 日本語基礎			文章表現法 日本語基礎

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
兼任	教授	クゲ ヨシユキ 久家 義之 (59) <平成28年4月> 学士(医学)	兼任	教授	クゲ ヨシユキ 久家 義之 (60) <平成28年4月> 学士(医学)	兼任	教授	クゲ ヨシユキ 久家 義之 (61) <平成28年4月> 学士(医学)	兼任	教授	クゲ ヨシユキ 久家 義之 (62) <平成28年4月> 学士(医学)	兼任	教授	クゲ ヨシユキ 久家 義之 (63) <平成28年4月> 学士(医学)	
		医学知識 精神保健の課題と支援 I			医学知識 精神保健の課題と支援 I			医学知識 精神保健の課題と支援 I			医学知識 精神保健の課題と支援 I			医学知識 精神保健の課題と支援 I	
兼任	教授	ツルノ タカヒロ 鶴野 隆浩 (53) <平成28年4月> 博士(社会福祉学)	兼任	教授	ツルノ タカヒロ 鶴野 隆浩 (54) <平成28年4月> 博士(社会福祉学)	兼任	教授	ツルノ タカヒロ 鶴野 隆浩 (55) <平成28年4月> 博士(社会福祉学)	兼任	教授	ツルノ タカヒロ 鶴野 隆浩 (56) <平成28年4月> 博士(社会福祉学)	兼任	教授	ツルノ タカヒロ 鶴野 隆浩 (57) <平成28年4月> 博士(社会福祉学)	
		人間科学演習Ⅱ※ 社会福祉 I			人間科学演習Ⅱ※ 社会福祉 I			人間科学演習Ⅱ※ 社会福祉 I			人間科学演習Ⅱ※ 社会福祉 I			人間科学演習Ⅱ※ 社会福祉 I	
兼任	教授	ハコイ ヒデカズ 箱井 英寿 (55) <平成28年4月> 社会学修士													
		人間科学演習Ⅱ※													
			兼任	准教授	ヒラノ テツジ 平野 哲司 (44) <平成28年4月> 博士(心理学)	兼任	准教授	ヒラノ テツジ 平野 哲司 (45) <平成28年4月> 博士(心理学)	兼任	准教授	ヒラノ テツジ 平野 哲司 (46) <平成28年4月> 博士(心理学)	兼任	准教授	ヒラノ テツジ 平野 哲司 (47) <平成28年4月> 博士(心理学)	
					人間科学演習Ⅱ※			人間科学演習Ⅱ※			人間科学演習Ⅱ※			人間科学演習Ⅱ※	
兼任	教授	ヒカミ コウジ 日上 耕司 (55) <平成28年4月> 博士(心理学)	兼任	教授	ヒカミ コウジ 日上 耕司 (56) <平成28年4月> 博士(心理学)	兼任	教授	ヒカミ コウジ 日上 耕司 (57) <平成28年4月> 博士(心理学)	兼任	教授	ヒカミ コウジ 日上 耕司 (58) <平成28年4月> 博士(心理学)	兼任	教授	ヒカミ コウジ 日上 耕司 (59) <平成28年4月> 博士(心理学)	
		障害児教育論			障害児教育論			障害児教育論			障害児教育論			特別支援教育原論	
兼任	教授	ホリ ユウコ 堀 裕子 (62) <平成28年4月> 芸術学士	兼任	教授	ホリ ユウコ 堀 裕子 (63) <平成28年4月> 芸術学士	兼任	教授	ホリ ユウコ 堀 裕子 (64) <平成28年4月> 芸術学士	兼任	教授	ホリ ユウコ 堀 裕子 (65) <平成28年4月> 芸術学士				
		人間科学演習Ⅱ※			人間科学演習Ⅱ※			人間科学演習Ⅱ※			人間科学演習Ⅱ※				
												兼任	講師	ナカムラ カオリ 中村 かおり (47) <平成31年4月> 修士(臨床教育学)	
														人間科学演習Ⅱ※	
兼任	准教授	サコウ タケシ 佐光 健 (43) <平成28年4月> 修士(社会福祉学)	兼任	准教授	サコウ タケシ 佐光 健 (44) <平成28年4月> 修士(社会福祉学)	兼任	准教授	サコウ タケシ 佐光 健 (45) <平成28年4月> 修士(社会福祉学)	兼任	准教授	サコウ タケシ 佐光 健 (46) <平成28年4月> 修士(社会福祉学)	兼任	教授	サコウ タケシ 佐光 健 (47) <平成28年4月> 修士(社会福祉学)	
		社会問題論			社会問題論			社会問題論			社会問題論			社会問題論	
兼任	准教授	シロコシ コウイチ 城越 幸一 (52) <平成28年4月> 体育学士	兼任	准教授	シロコシ コウイチ 城越 幸一 (53) <平成28年4月> 体育学士	兼任	准教授	シロコシ コウイチ 城越 幸一 (54) <平成28年4月> 体育学士	兼任	准教授	シロコシ コウイチ 城越 幸一 (55) <平成28年4月> 体育学士	兼任	准教授	シロコシ コウイチ 城越 幸一 (56) <平成28年4月> 体育学士	
		スポーツ実技 I ヘルスプロモーション スポーツ実技 II			スポーツ実技 I ヘルスプロモーション			スポーツ実技 I ヘルスプロモーション			スポーツ実技 I ヘルスプロモーション 人間科学演習Ⅱ※			スポーツ実技 I ヘルスプロモーション 人間科学演習Ⅱ※	
			兼任	講師	クラウチ シゲル 蔵内 茂 (48) <平成28年4月> 高等学校卒	兼任	講師	クラウチ シゲル 蔵内 茂 (49) <平成28年4月> 高等学校卒	兼任	講師	クラウチ シゲル 蔵内 茂 (50) <平成28年4月> 高等学校卒	兼任	講師	クラウチ シゲル 蔵内 茂 (51) <平成28年4月> 高等学校卒	
					スポーツ実技 II			スポーツ実技 II			スポーツ実技 II			スポーツ実技 II	
兼任	准教授	スズキ クニタケ 鈴木 国威 (40) <平成29年4月> 博士(理学)	兼任	准教授	スズキ クニタケ 鈴木 国威 (41) <平成29年4月> 博士(理学)										
		子どもの心と体			子どもの心と体										
兼任	准教授	タケダ タクヤ 武田 卓也 (40) <平成28年4月> 修士(社会学)	兼任	准教授	タケダ タクヤ 武田 卓也 (41) <平成28年4月> 博士(社会学)	兼任	教授	タケダ タクヤ 武田 卓也 (42) <平成28年4月> 博士(社会学)	兼任	教授	タケダ タクヤ 武田 卓也 (43) <平成28年4月> 博士(社会学)	兼任	教授	タケダ タクヤ 武田 卓也 (44) <平成28年4月> 博士(社会学)	
		人間科学演習Ⅱ※			人間科学演習Ⅱ※			人間科学演習Ⅱ※			人間科学演習Ⅱ※			人間科学演習Ⅱ※	
兼任	准教授	トヨダ フミコ 豊田 典子 (55) <平成28年4月> 教育学士	兼任	准教授	トヨダ フミコ 豊田 典子 (56) <平成28年4月> 教育学士	兼任	准教授	トヨダ フミコ 豊田 典子 (57) <平成28年4月> 教育学士							
		人間科学演習Ⅱ※			人間科学演習Ⅱ※			人間科学演習Ⅱ※							
兼任	准教授	マスダ コウゾウ 榎田 浩三 (44) <平成28年4月> 修士(医科学)	兼任	准教授	マスダ コウゾウ 榎田 浩三 (45) <平成28年4月> 修士(医科学)	兼任	准教授	マスダ コウゾウ 榎田 浩三 (46) <平成28年4月> 修士(医科学)	兼任	准教授	マスダ コウゾウ 榎田 浩三 (47) <平成28年4月> 修士(医科学)				
		人間科学演習Ⅱ※			人間科学演習Ⅱ※			人間科学演習Ⅱ※			人間科学演習Ⅱ※				
												兼任	助教	タテモト シマ 立本 志磨 (35) <平成31年4月> 学士(文学)	
														人間科学演習Ⅱ※	
兼任	准教授	マルヤマ アミ 丸山 亜実 (44) <平成28年4月> 学士(社会学)	兼任	准教授	マルヤマ アミ 丸山 亜実 (45) <平成28年4月> 学士(社会学)	兼任	准教授	マルヤマ アミ 丸山 亜実 (46) <平成28年4月> 学士(社会学)	兼任	准教授	マルヤマ アミ 丸山 亜実 (47) <平成28年4月> 学士(社会学)	兼任	准教授	マルヤマ アミ 丸山 亜実 (48) <平成28年4月> 学士(社会学)	
		人間科学演習Ⅱ※			人間科学演習Ⅱ※			人間科学演習Ⅱ※			人間科学演習Ⅱ※			人間科学演習Ⅱ※	
兼任	講師	サノ ヒデユキ 佐野 秀行 (40) <平成28年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	サノ ヒデユキ 佐野 秀行 (41) <平成28年4月> 修士(教育学)	兼任	准教授	サノ ヒデユキ 佐野 秀行 (42) <平成28年4月> 修士(教育学)	兼任	准教授	サノ ヒデユキ 佐野 秀行 (43) <平成28年4月> 修士(教育学)	兼任	准教授	サノ ヒデユキ 佐野 秀行 (44) <平成28年4月> 修士(教育学)	
		教育原理			教育原理			教育原理			教育原理			教育原理	
兼任	講師	トキモト ユカリ 時本 ゆかり (47) <平成28年4月> 修士(臨床福祉学)	兼任	准教授	トキモト ユカリ 時本 ゆかり (48) <平成28年4月> 修士(臨床福祉学)	兼任	准教授	トキモト ユカリ 時本 ゆかり (49) <平成28年4月> 修士(臨床福祉学)	兼任	准教授	トキモト ユカリ 時本 ゆかり (50) <平成28年4月> 修士(臨床福祉学)	兼任	准教授	トキモト ユカリ 時本 ゆかり (51) <平成28年4月> 修士(臨床福祉学)	
		人間科学演習Ⅱ※			人間科学演習Ⅱ※			人間科学演習Ⅱ※			人間科学演習Ⅱ※			人間科学演習Ⅱ※	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	オクムラ ノリコ 奥村 命子 (50) <平成28年4月> 社会学士
		ソーシャルマナー
兼任	講師	キウチ マサヒロ 木内 真弘 (53) <平成28年4月> 修士(学術)
		スポーツ実技 I
兼任	講師	キムラ マサコ 木村 正子 (51) <平成28年4月> 博士(文学)
		オラクルワークショップ(英語) I オラクルワークショップ(英語) II
兼任	講師	キョウゴクダイスケ 京極 大助 (27) <平成28年4月> 博士(理学)
		生物学
兼任	講師	コウガミ ケイタ 鴻上 圭太 (41) <平成28年4月> 修士(社会学)
		人間科学演習 I
兼任	講師	コミヤマ ナオコ 小宮山 直子 (51) <平成28年4月> 修士(法学)
		日本国憲法
兼任	講師	サカタ タカシ 坂田 隆志 (60) <平成29年4月> 工学士
		救急措置法演習
兼任	講師	ササキ ヒロユキ 佐々木 啓之 (49) <平成28年4月> 文学士
		人間科学演習 I
兼任	講師	サトウ ヤスコ 佐藤 泰子 (55) <平成28年4月> 博士(人間・環境学)
		医療倫理
兼任	講師	サハラ ナオユキ 佐原 直幸 (41) <平成29年4月> 修士(社会福祉学)
		社会保障論 I
兼任	講師	サワダ(ミヤケ) ユキコ 澤田(三宅) 有希子 (38) <平成29年4月> 総合政策学博士
		ジェンダー論
兼任	講師	シライ ミチヨ 白井 三千代 (56) <平成28年4月> 修士(国文学)・ 修士(社会学)
		人間科学演習 I
兼任	講師	スギハラ サトコ 杉原 聡子 (28) <平成28年4月> 修士(臨床心理学)
		人間科学演習 I

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	オクムラ ノリコ 奥村 命子 (51) <平成28年4月> 社会学士
		ソーシャルマナー
兼任	講師	キウチ マサヒロ 木内 真弘 (54) <平成28年4月> 修士(学術)
		スポーツ実技 I
兼任	講師	ハヤシ カナコ 林 可奈子 (33) <平成28年4月> 修士(言語教育情報学)
		オラクルワークショップ(英語) I オラクルワークショップ(英語) II
兼任	講師	キョウゴクダイスケ 京極 大助 (28) <平成28年4月> 博士(理学)
		生物学
兼任	講師	コウガミ ケイタ 鴻上 圭太 (42) <平成28年4月> 修士(社会学)
		人間科学演習 I
兼任	講師	コミヤマ ナオコ 小宮山 直子 (52) <平成28年4月> 修士(法学)
		日本国憲法
兼任	講師	サカタ タカシ 坂田 隆志 (61) <平成29年4月> 工学士
		救急措置法演習
兼任	講師	ササキ ヒロユキ 佐々木 啓之 (50) <平成28年4月> 文学士
		人間科学演習 I
兼任	講師	サトウ ヤスコ 佐藤 泰子 (56) <平成28年4月> 博士(人間・環境学)
		医療倫理
兼任	講師	サハラ ナオユキ 佐原 直幸 (42) <平成29年4月> 修士(社会福祉学)
		社会保障論 I
兼任	講師	サワダ(ミヤケ) ユキコ 澤田(三宅) 有希子 (39) <平成29年4月> 総合政策学博士
		ジェンダー論
兼任	講師	シライ ミチヨ 白井 三千代 (57) <平成28年4月> 修士(国文学)・ 修士(社会学)
		人間科学演習 I
兼任	講師	スギハラ サトコ 杉原 聡子 (29) <平成28年4月> 修士(臨床心理学)
		人間科学演習 I

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	オクムラ ノリコ 奥村 命子 (52) <平成28年4月> 社会学士
		ソーシャルマナー
兼任	講師	キウチ マサヒロ 木内 真弘 (55) <平成28年4月> 修士(学術)
		スポーツ実技 I
兼任	講師	ハヤシ カナコ 林 可奈子 (34) <平成28年4月> 修士(言語教育情報学)
		オラクルワークショップ(英語) I オラクルワークショップ(英語) II
兼任	講師	ヤマザキ ヨウ 山崎 曜 (27) <平成29年4月> 博士(理学)
		生物学
兼任	講師	コウガミ ケイタ 鴻上 圭太 (43) <平成28年4月> 修士(社会学)
		人間科学演習 I
兼任	講師	コミヤマ ナオコ 小宮山 直子 (53) <平成28年4月> 修士(法学)
		日本国憲法
兼任	講師	サカタ タカシ 坂田 隆志 (62) <平成29年4月> 工学士
		救急措置法演習
兼任	講師	ササキ ヒロユキ 佐々木 啓之 (51) <平成28年4月> 文学士
		人間科学演習 I
兼任	講師	サトウ ヤスコ 佐藤 泰子 (57) <平成28年4月> 博士(人間・環境学)
		医療倫理
兼任	講師	サハラ ナオユキ 佐原 直幸 (43) <平成29年4月> 修士(社会福祉学)
		社会保障論 I
兼任	講師	サワダ(ミヤケ) ユキコ 澤田(三宅) 有希子 (40) <平成29年4月> 総合政策学博士
		ジェンダー論
兼任	講師	シライ ミチヨ 白井 三千代 (58) <平成28年4月> 修士(国文学)・ 修士(社会学)
		人間科学演習 I
兼任	講師	スギハラ サトコ 杉原 聡子 (30) <平成28年4月> 修士(臨床心理学)
		人間科学演習 I

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	オクムラ ノリコ 奥村 命子 (53) <平成28年4月> 社会学士
		ソーシャルマナー
兼任	講師	キウチ マサヒロ 木内 真弘 (56) <平成28年4月> 修士(学術)
		スポーツ実技 I
兼任	講師	ハヤシ カナコ 林 可奈子 (35) <平成28年4月> 修士(言語教育情報学)
		オラクルワークショップ(英語) I オラクルワークショップ(英語) II
兼任	講師	イトウ リョウスケ 伊藤 僚祐 (26) <平成30年4月> 修士(理学)
		生物学
兼任	講師	コウガミ ケイタ 鴻上 圭太 (44) <平成28年4月> 修士(社会学)
		人間科学演習 I
兼任	講師	コミヤマ ナオコ 小宮山 直子 (54) <平成28年4月> 修士(法学)
		日本国憲法
兼任	講師	サカタ タカシ 坂田 隆志 (63) <平成29年4月> 工学士
		救急措置法演習
兼任	講師	ササキ ヒロユキ 佐々木 啓之 (51) <平成28年4月> 文学士
		人間科学演習 I
兼任	講師	サトウ ヤスコ 佐藤 泰子 (58) <平成28年4月> 博士(人間・環境学)
		医療倫理
兼任	講師	サハラ ナオユキ 佐原 直幸 (44) <平成29年4月> 修士(社会福祉学)
		社会保障論 I
兼任	講師	サワダ(ミヤケ) ユキコ 澤田(三宅) 有希子 (40) <平成29年4月> 総合政策学博士
		ジェンダー論
兼任	講師	シライ ミチヨ 白井 三千代 (59) <平成28年4月> 修士(国文学)・ 修士(社会学)
		人間科学演習 I
兼任	講師	スギハラ サトコ 杉原 聡子 (30) <平成28年4月> 修士(臨床心理学)
		人間科学演習 I

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	オクムラ ノリコ 奥村 命子 (54) <平成28年4月> 社会学士
		ソーシャルマナー
兼任	講師	キウチ マサヒロ 木内 真弘 (57) <平成28年4月> 修士(学術)
		スポーツ実技 I
兼任	講師	ハヤシ カナコ 林 可奈子 (36) <平成28年4月> 修士(言語教育情報学)
		オラクルワークショップ(英語) I オラクルワークショップ(英語) II
兼任	講師	フジモト ケイコ 藤本 恵子 (55) <平成31年4月> 修士(学術)
		オラクルワークショップ(英語) I オラクルワークショップ(英語) II
兼任	講師	イトウ リョウスケ 伊藤 僚祐 (27) <平成30年4月> 修士(理学)
		生物学
兼任	講師	コウガミ ケイタ 鴻上 圭太 (45) <平成28年4月> 修士(社会学)
		人間科学演習 I
兼任	講師	コミヤマ ナオコ 小宮山 直子 (55) <平成28年4月> 修士(法学)
		日本国憲法
兼任	講師	サカタ タカシ 坂田 隆志 (64) <平成29年4月> 工学士
		救急措置法演習
兼任	講師	ササキ ヒロユキ 佐原 直幸 (45) <平成29年4月> 修士(社会福祉学)
		社会保障論 I
兼任	講師	サワダ(ミヤケ) ユキコ 澤田(三宅) 有希子 (40) <平成29年4月> 総合政策学博士
		ジェンダー論
兼任	講師	シライ ミチヨ 白井 三千代 (60) <平成28年4月> 修士(国文学)・ 修士(社会学)
		人間科学演習 I
兼任	講師	スギハラ サトコ 杉原 聡子 (29) <平成28年4月> 修士(臨床心理学)
		人間科学演習 I

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	スギモト クミコ 杉本 久未子 (67) <平成28年4月> 博士(社会学)	兼任	講師	スギモト クミコ 杉本 久未子 (68) <平成28年4月> 博士(社会学)	兼任	講師	スギモト クミコ 杉本 久未子 (69) <平成28年4月> 博士(社会学)	兼任	講師	ウエダ ミズホ 植田 瑞穂 (28) <平成30年4月> 心理学修士	兼任	講師	ウエダ ミズホ 植田 瑞穂 (29) <平成30年4月> 心理学修士
		社会学 社会調査論			社会学 社会調査論			社会学 社会調査論			人間科学演習 I			人間科学演習 I
兼任	講師	タカギ キョウコ 高木 恭子 (43) <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	講師	タカギ キョウコ 高木 恭子 (44) <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	講師	タカギ キョウコ 高木 恭子 (45) <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	講師	タカギ キョウコ 高木 恭子 (46) <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	講師	タカギ キョウコ 高木 恭子 (47) <平成29年4月> 博士(工学)
		人間工学			人間工学			人間工学			人間工学			人間工学
兼任	講師	タカハシ シュウスケ 高橋 秀典 (43) <平成28年4月> 医学博士												
		神経内科学 I 神経内科学 II												
兼任	講師	ツル カンジ 水流 寛二 (48) <平成28年4月> 体育学士	兼任	講師	ツル カンジ 水流 寛二 (49) <平成28年4月> 体育学士	兼任	講師	ツル カンジ 水流 寛二 (50) <平成28年4月> 体育学士	兼任	講師	ツル カンジ 水流 寛二 (51) <平成28年4月> 体育学士	兼任	講師	ツル カンジ 水流 寛二 (52) <平成28年4月> 体育学士
		人間科学演習 I			人間科学演習 I			人間科学演習 I			人間科学演習 I			人間科学演習 I
兼任	講師	デン レイ 田 麗 (56) <平成29年4月> 博士(医学)	兼任	講師	デン レイ 田 麗 (57) <平成29年4月> 博士(医学)	兼任	講師	デン レイ 田 麗 (58) <平成29年4月> 博士(医学)	兼任	講師	デン レイ 田 麗 (59) <平成29年4月> 博士(医学)	兼任	講師	デン レイ 田 麗 (60) <平成29年4月> 博士(医学)
		病理学概論 内科学 小児科学			病理学概論 内科学 小児科学			病理学概論 内科学 小児科学			病理学概論 内科学 小児科学			病理学概論 内科学 小児科学
兼任	講師	ナカクボ ケイスケ 中窪 啓介 (31) <平成28年4月> 博士(地理学)	兼任	講師	ナカクボ ケイスケ 中窪 啓介 (32) <平成28年4月> 博士(地理学)	兼任	講師	ナカクボ ケイスケ 中窪 啓介 (33) <平成28年4月> 博士(地理学)	兼任	講師	ナカクボ ケイスケ 中窪 啓介 (34) <平成28年4月> 博士(地理学)	兼任	講師	ナカクボ ケイスケ 中窪 啓介 (35) <平成28年4月> 博士(地理学)
		国際社会論			国際社会論			国際社会論			国際社会論			国際社会論
兼任	講師	ナカジ ヨウコ 中路 曜子 (29) <平成29年4月> 修士(心理学)	兼任	講師	ナカジ ヨウコ 中路 曜子 (30) <平成29年4月> 修士(心理学)	兼任	講師	ナカジ ヨウコ 中路 曜子 (31) <平成29年4月> 修士(心理学)	兼任	講師	ナカジ ヨウコ 中路 曜子 (32) <平成29年4月> 修士(心理学)	兼任	講師	ナカジ ヨウコ 中路 曜子 (33) <平成29年4月> 修士(心理学)
		障害者の心理			障害者の心理			障害者の心理			障害者の心理			障害者の心理
兼任	講師	ナカニシ ミホ 中西 美穂 (46) <平成28年4月> 修士(文学)	兼任	講師	ナカニシ ミホ 中西 美穂 (47) <平成28年4月> 修士(文学)	兼任	講師	ナカニシ ミホ 中西 美穂 (48) <平成28年4月> 修士(文学)	兼任	講師	ナカニシ ミホ 中西 美穂 (49) <平成28年4月> 修士(文学)	兼任	講師	ナカニシ ミホ 中西 美穂 (50) <平成28年4月> 修士(文学)
		人間科学演習 I			人間科学演習 I			人間科学演習 I			人間科学演習 I			人間科学演習 I
兼任	講師	ナルセ ススム 成瀬 進 (55) <平成28年4月> 博士(医学)	兼任	講師	ナルセ ススム 成瀬 進 (56) <平成28年4月> 博士(医学)	兼任	講師	ナルセ ススム 成瀬 進 (57) <平成28年4月> 博士(医学)	兼任	講師	ナルセ ススム 成瀬 進 (58) <平成28年4月> 博士(医学)	兼任	講師	ナルセ ススム 成瀬 進 (59) <平成28年4月> 博士(医学)
		福祉機器論			福祉機器論			福祉機器論			福祉機器論			福祉機器論
兼任	講師	ニシザワ トシミ 西沢 敏美 (60) <平成28年4月> 法学士	兼任	講師	ニシザワ トシミ 西沢 敏美 (61) <平成28年4月> 法学士	兼任	講師	ニシザワ トシミ 西沢 敏美 (62) <平成28年4月> 法学士	兼任	講師	ニシザワ トシミ 西沢 敏美 (63) <平成28年4月> 法学士	兼任	講師	ニシザワ トシミ 西沢 敏美 (64) <平成28年4月> 法学士
		キャリアデザイン I キャリアデザイン II			キャリアデザイン I キャリアデザイン II			キャリアデザイン I キャリアデザイン II			キャリアデザイン I キャリアデザイン II			キャリアデザイン I キャリアデザイン II
兼任	講師	ヒライ タカハル 平井 崇晴 (50) <平成28年4月> 博士(理学)	兼任	講師	ヒライ タカハル 平井 崇晴 (51) <平成28年4月> 博士(理学)	兼任	講師	ヒライ タカハル 平井 崇晴 (52) <平成28年4月> 博士(理学)	兼任	講師	ヒライ タカハル 平井 崇晴 (53) <平成28年4月> 博士(理学)	兼任	講師	ヒライ タカハル 平井 崇晴 (54) <平成28年4月> 博士(理学)
		数学の原理 数学基礎			数学の原理 数学基礎			数学の原理 数学基礎			数学の原理 数学基礎			数学の原理 数学基礎
兼任	講師	ヒラヤナギ ユキオ 平柳 行雄 (64) <平成28年4月> 商学士・ Master of Arts(米国)	兼任	教授	ヒラヤナギ ユキオ 平柳 行雄 (65) <平成28年4月> 商学士・ Master of Arts(米国)	兼任	教授	ヒラヤナギ ユキオ 平柳 行雄 (66) <平成28年4月> 商学士・ Master of Arts(米国)	兼任	教授	ヒラヤナギ ユキオ 平柳 行雄 (67) <平成28年4月> 商学士・ Master of Arts(米国)	兼任	教授	ヒラヤナギ ユキオ 平柳 行雄 (68) <平成28年4月> 商学士・ Master of Arts(米国)
		多文化共生 オーラルワークショップ(英語) I オーラルワークショップ(英語) II			多文化共生 オーラルワークショップ(英語) I オーラルワークショップ(英語) II			多文化共生 オーラルワークショップ(英語) I オーラルワークショップ(英語) II			多文化共生 オーラルワークショップ(英語) I オーラルワークショップ(英語) II			多文化共生 オーラルワークショップ(英語) I オーラルワークショップ(英語) II
兼任	講師	フジイ ワタル 藤井 涉 (36) <平成28年4月> 修士(社会福祉学)	兼任	講師	フジイ ワタル 藤井 涉 (37) <平成28年4月> 修士(社会福祉学)	兼任	講師	フジイ ワタル 藤井 涉 (38) <平成28年4月> 修士(社会福祉学)	兼任	講師	フジイ ワタル 藤井 涉 (39) <平成28年4月> 修士(社会福祉学)	兼任	講師	フジイ ワタル 藤井 涉 (40) <平成28年4月> 修士(社会福祉学)
		人権と倫理			人権と倫理			人権と倫理			人権と倫理			人権と倫理
兼任	講師	フジムラ クニヒロ 藤村 邦博 (64) <平成28年4月> 文学修士	兼任	講師	フジムラ クニヒロ 藤村 邦博 (65) <平成28年4月> 文学修士	兼任	講師	フジムラ クニヒロ 藤村 邦博 (66) <平成28年4月> 文学修士	兼任	講師	フジムラ クニヒロ 藤村 邦博 (67) <平成28年4月> 文学修士	兼任	講師	フジムラ クニヒロ 藤村 邦博 (68) <平成28年4月> 文学修士
		心の科学 発達心理学 教育心理学			心の科学 発達心理学 教育心理学			心の科学 発達心理学 教育心理学			心の科学 発達心理学 教育心理学			心の科学 発達心理学 教育心理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
兼任	講師	ベン ノリコ 影 徳子 (45) <平成31年4月> 博士(医学)	兼任	講師	ベン ノリコ 影 徳子 (46) <平成31年4月> 博士(医学)	兼任	講師	ベン ノリコ 影 徳子 (47) <平成31年4月> 博士(医学)	兼任	講師	ベン ノリコ 影 徳子 (48) <平成31年4月> 博士(医学)	兼任	講師	ベン ノリコ 影 徳子 (49) <平成31年4月> 博士(医学)	
		生化学 免疫学			生化学 免疫学			生化学 免疫学			生化学 免疫学			生化学 免疫学	
兼任	講師	ホソヤ ノリフミ 細谷 周史 (40) <平成29年4月> 修士(心理学)	兼任	講師	ホソヤ ノリフミ 細谷 周史 (41) <平成29年4月> 修士(心理学)	兼任	講師	ホソヤ ノリフミ 細谷 周史 (42) <平成29年4月> 修士(心理学)	兼任	講師	ホソヤ ノリフミ 細谷 周史 (43) <平成29年4月> 修士(心理学)	兼任	講師	ホソヤ ノリフミ 細谷 周史 (44) <平成29年4月> 修士(心理学)	
		生活と統計			生活と統計			生活と統計			生活と統計			生活と統計	
兼任	講師	マスタニ アヤジ 栢谷 礼路 (40) <平成28年4月> 学士(教育学)	兼任	講師	マスタニ アヤジ 栢谷 礼路 (41) <平成28年4月> 学士(教育学)										
		人間科学演習 I			人間科学演習 I										
兼任	講師	マツウラ ヒロキ 松浦 宏樹 (30) <平成28年4月> 学士(社会福祉学)	兼任	講師	マツウラ ヒロキ 松浦 宏樹 (31) <平成28年4月> 学士(社会福祉学)	兼任	講師	マツウラ ヒロキ 松浦 宏樹 (32) <平成28年4月> 学士(社会福祉学)	兼任	講師	マツウラ ヒロキ 松浦 宏樹 (33) <平成28年4月> 学士(社会福祉学)				
		人間科学演習 I			人間科学演習 I			人間科学演習 I			人間科学演習 I				
												兼任	講師	イシハラ タカユキ 石原 昂祐 (30) <平成31年4月> 学士(社会福祉学)	
														人間科学演習 I	
兼任	講師	マツダ タカシ 松田 崇志 (32) <平成29年4月> 博士(文学)	兼任	講師	マツダ タカシ 松田 崇志 (33) <平成29年4月> 博士(文学)										
		高齢者の心理			高齢者の心理										
						兼任	講師	トヨシマ アヤ 豊島 彩 (28) <平成29年4月> 博士(人間科学)	兼任	講師	トヨシマ アヤ 豊島 彩 (29) <平成29年4月> 博士(人間科学)	兼任	講師	トヨシマ アヤ 豊島 彩 (30) <平成29年4月> 博士(人間科学)	
								高齢者の心理			高齢者の心理			高齢者の心理	
兼任	講師	ミヤチ ユキヒサ 宮地 幸久 (50) <平成30年4月> 博士(理学)	兼任	講師	ミヤチ ユキヒサ 宮地 幸久 (51) <平成30年4月> 博士(理学)	兼任	講師	ミヤチ ユキヒサ 宮地 幸久 (52) <平成30年4月> 博士(理学)							
		画像診断学			画像診断学			画像診断学							
									兼任	講師	アベ(ミチー) マユミ 阿部(ミチー) 真弓 (35) <平成30年4月> 学士(医学)				
											画像診断学※				
												兼任	講師	オカムラ ケイスケ 岡村 圭介 (32) <平成31年4月> 学士(医学)	
														画像診断学※	
									兼任	講師	タグチ メグル 田口 周 (28) <平成30年4月> 学士(医学)	兼任	講師	タグチ メグル 田口 周 (29) <平成30年4月> 学士(医学)	
											画像診断学※			画像診断学※	
兼任	講師	モリ マサキ 森 征樹 (44) <平成28年4月> Magsiter atrium (ドイツ連邦共和国)	兼任	講師	モリ マサキ 森 征樹 (45) <平成28年4月> Magsiter atrium (ドイツ連邦共和国)	兼任	講師	モリ マサキ 森 征樹 (46) <平成28年4月> Magsiter atrium (ドイツ連邦共和国)	兼任	講師	モリ マサキ 森 征樹 (47) <平成28年4月> Magsiter atrium (ドイツ連邦共和国)	兼任	講師	モリ マサキ 森 征樹 (48) <平成28年4月> Magsiter atrium (ドイツ連邦共和国)	
		法学			法学			法学			法学			法学	
兼任	講師	モリワキ フミコ 森脇 文子 (65) <平成28年4月> 体育学士	兼任	講師	モリワキ フミコ 森脇 文子 (66) <平成28年4月> 体育学士	兼任	講師	モリワキ フミコ 森脇 文子 (67) <平成28年4月> 体育学士	兼任	講師	モリワキ フミコ 森脇 文子 (68) <平成28年4月> 体育学士	兼任	講師	モリワキ フミコ 森脇 文子 (69) <平成28年4月> 体育学士	
		スポーツ実技 I			スポーツ実技 I			スポーツ実技 I			スポーツ実技 I			スポーツ実技 I	
兼任	講師	ヤマオカ ノブユキ 山岡 伸行 (56) <平成28年4月> 医学博士	兼任	講師	ヤマオカ ノブユキ 山岡 伸行 (57) <平成28年4月> 医学博士	兼任	講師	ヤマオカ ノブユキ 山岡 伸行 (58) <平成28年4月> 医学博士	兼任	講師	ヤマオカ ノブユキ 山岡 伸行 (59) <平成28年4月> 医学博士	兼任	講師	ヤマオカ ノブユキ 山岡 伸行 (60) <平成28年4月> 医学博士	
		リハビリテーション医学 整形外科 I 整形外科 II			リハビリテーション医学 整形外科 I 整形外科 II			整形外科 I 整形外科 II			整形外科 I 整形外科 II			整形外科 I 整形外科 II	
						兼任	講師	ハセ キミタカ 長谷 公隆 (57) <平成29年4月> 博士(医学)	兼任	講師	ハセ キミタカ 長谷 公隆 (58) <平成29年4月> 博士(医学)	兼任	講師	ハセ キミタカ 長谷 公隆 (59) <平成29年4月> 博士(医学)	
								リハビリテーション医学※			リハビリテーション医学※			リハビリテーション医学※	
						兼任	講師	オキシオ ナオタカ 沖塩 尚孝 (42) <平成29年4月> 修士(文学)	兼任	講師	オキシオ ナオタカ 沖塩 尚孝 (43) <平成29年4月> 修士(文学)	兼任	講師	オキシオ ナオタカ 沖塩 尚孝 (44) <平成29年4月> 修士(文学)	
								リハビリテーション医学※			リハビリテーション医学※ 画像診断学※			リハビリテーション医学※ 画像診断学※	
兼任	講師	ヤマグチ ヨシコ 山口 芳香 (51) <平成31年4月> 博士(理学)	兼任	講師	ヤマグチ ヨシコ 山口 芳香 (52) <平成31年4月> 博士(理学)	兼任	講師	ヤマグチ ヨシコ 山口 芳香 (53) <平成31年4月> 博士(理学)	兼任	講師	ヤマグチ ヨシコ 山口 芳香 (54) <平成31年4月> 博士(理学)	兼任	講師	ヤマグチ ヨシコ 山口 芳香 (55) <平成31年4月> 博士(理学)	
		薬理学			薬理学			薬理学			薬理学			薬理学	

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成28年度】

- ・「人間科学演習Ⅱ」の「川井久和兼担教授」を「岡孝夫兼担助教」に、「箱井英寿兼担教授」を「平野哲司兼担准教授」に、「宮地ゆうじ兼担助教」を「廣瀬宜礼兼担講師」に変更。
- ・「文章表現法」「日本語基礎」の「木村和也兼担教授」を「北野等兼任講師」に変更。
- ・「スポーツ実技Ⅱ」の「城越幸一兼担准教授」を「蔵内茂兼任講師」に変更。
- ・「オラルワークショップ（英語）Ⅰ」「オラルワークショップ（英語）Ⅱ」の担当教員を「木村正子兼任講師」と「ラドロー・ウイントン・ギボンス」兼担教授の2名から「林可奈子兼任講師」1名に変更。
- ・「神経内科学Ⅰ」「神経内科学Ⅱ」の「高橋秀典兼任講師」の就任辞退に伴い「加藤敬徳兼担教授」に変更。
- ・職名の変更。「時本ゆかり兼担講師」を「兼担准教授」に、「平柳雄兼任講師」を「兼担教授」に、「ラドロー・ウイントン・ギボンス」兼任講師を「兼担教授」に変更。

【平成29年度】

- ・専任「奥壽郎教授」の担当科目に「FA演習Ⅰ」「FA演習Ⅱ」を追加。平成28年11月AC教員審査済み。
- ・専任「弓岡まみ助教」の担当科目に「FA演習Ⅰ」「FA演習Ⅱ」を追加。平成28年11月AC教員審査済み。
- ・専任「田中雅侑助教」の担当科目に「解剖学演習」を追加。平成29年7月AC教員審査済み。
- ・「人間科学Ⅰ」「人間科学Ⅱ」の「木村健治兼担教授」退職に伴い「田中保和兼担教授」に変更。
- ・「人間科学演習Ⅰ」の担当教員から「榎谷礼路兼任講師」を就任辞退により削除。
- ・「子どもの心と体」の「鈴木国威兼担教授」を「山崎康一郎兼担教授」に変更。
- ・「人間科学演習Ⅱ」の「山崎康一郎兼担教授」を「東千冬兼担教授」に変更。
- ・「コミュニケーション（英語）Ⅰ」「コミュニケーション（英語）Ⅱ」の「ラドロー・ウイントン・ギボンス」兼担教授を「大北勢津子兼任講師」に変更。
- ・「心身医学」の「加藤敬徳兼担教授」を「原田正文兼担教授」に変更。
- ・「生物学」の「京極大助兼任講師」を「山崎曜兼任講師」に変更。
- ・「高齢者の心理」の「松田崇志兼任講師」を「豊島彩兼任講師」に変更。
- ・「リハビリテーション医学」の「山岡伸行兼任講師」を「長谷公隆兼任講師」と「沖塩尚孝兼任講師」に変更。
- ・職名の変更。「武田卓也兼担教授」を「兼担教授」に、「佐野秀行兼任講師」を「兼担准教授」に、「山崎康一郎兼担講師」を「兼担教授」に変更。

【平成30年度】

- ・専任「杉生真一教授」の担当科目に「FA演習Ⅰ」を追加。平成29年7月AC教員審査済み。
- ・専任「廣瀬浩昭准教授」の担当科目に「脊髄障害理学療法学」「脊髄障害理学療法学演習」を追加。平成29年7月AC教員審査済み。
- ・専任「田中雅侑助教」の担当科目に「解剖学Ⅰ」「解剖学Ⅱ」を追加。平成29年7月AC教員審査済み。
- ・「老年心理学」の「石井京子兼担教授」を「尾崎勝彦兼任講師」に変更。
- ・「文章表現法」「日本語基礎」の「北野等兼任講師」を「宮崎佐利兼担教授」に変更。
- ・「人間科学演習Ⅱ」の「豊田典子兼担教授」を「城越幸一兼担教授」に変更。
- ・「臨床心理学」の「山崎康一郎兼担教授」を「原田恵理兼任講師」に変更。
- ・「子どもの心と体」の「山崎康一郎兼担教授」を「金波兼任講師」に変更。
- ・「ジェンダー論」の「澤田（三宅）有希子兼任講師」を「赤田知華子兼任講師」に変更。
- ・「人間科学演習Ⅱ」の担当教員から「廣瀬宜礼兼担講師」を退職により削除。
- ・「オラルワークショップ（英語）Ⅰ」「オラルワークショップ（英語）Ⅱ」「コミュニケーション（英語）Ⅰ」「コミュニケーション（英語）Ⅱ」の「大北勢津子兼任講師」を「島村敏生兼任講師」に変更。
- ・「スポーツ傷害学演習」の「大野修司兼任講師」を「濱田太郎兼任講師」に変更。
- ・「生物学」の「山崎曜兼任講師」を「伊藤僚祐兼任講師」に変更。
- ・「人間科学演習Ⅰ」の担当教員から「佐々木啓兼任講師」を退職により削除。
- ・「人間科学演習Ⅰ」の「杉原聡子兼任講師」を「植田瑞穂兼任講師」に変更。
- ・「社会学」「社会調査論」の「杉本久未子兼担教授」を「柴田（吉崎）和子兼任講師」に変更。
- ・「画像診断学」の「宮地幸久兼任講師」を「沖塩尚孝兼任講師」と「阿部（ミチー）真弓兼任講師」と「田口周兼任講師」に変更。

【令和元年度】

- ・専任「杉生真一教授」の担当科目に「FA演習Ⅱ」を追加。平成29年7月AC教員審査済み。
- ・専任「長倉裕二教授」の担当科目に「FA演習Ⅰ」を追加。平成30年8月AC教員審査済み。
- ・専任「奥村裕講師」の担当科目に「運動器障害理学療法学」を追加。平成30年8月AC教員審査済み。
- ・専任「奥村裕講師」の担当科目に「運動器障害理学療法学演習」を追加（平成30年度後期から追加）。平成30年8月AC教員審査済み。
- ・専任「金澤佑治講師」の担当科目に「FA演習Ⅰ」を追加。平成30年8月AC教員審査済み。
- ・専任「弓岡まみ助教」の担当科目に「評価学総論」を追加（平成30年度後期から追加）。平成30年8月AC教員審査済み。
- ・「人間関係」「キャリアデザインⅢ」「キャリアデザインⅣ」の「原田正文兼担教授」を「山崎正和兼担教授」に変更。
- ・「心身医学」の「原田正文兼担教授」を「加藤敬徳兼担教授」に変更。
- ・「人間科学演習Ⅱ」の「堀裕子兼担教授」を「中村かおり兼担講師」に変更。
- ・「人間科学演習Ⅱ」の「榎田浩三兼担教授」を「立本志磨兼担助教」に変更。
- ・「人間科学演習Ⅱ」の「富澤宏輔兼担助教」を「吉池毅志兼担教授」に変更。
- ・「人間科学演習Ⅱ」の担当教員に「青木弥穂兼担助教」を追加（平成30年度後期から追加）。
- ・「臨床心理学」の「原田恵理兼任講師」を「山崎康一郎兼任講師」に変更。
- ・「オラルワークショップ（英語）Ⅰ」「オラルワークショップ（英語）Ⅱ」の担当教員に「藤本恵子兼任講師」を追加。
- ・「人間科学演習Ⅰ」の「松浦宏樹兼任講師」を「石原昂侑兼任講師」に変更。
- ・「画像診断学」の「阿部（ミチー）真弓兼任講師」を「岡村圭介兼任講師」に変更。
- ・授業科目名称の変更。「日上耕司兼担教授」担当の「障害児教育論」を「特別支援教育原論」に名称変更。
- ・職名の変更。「石井京子兼担教授」を「兼任講師」に、「佐光健兼担教授」を「兼担教授」に変更。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
14 名	7 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
8	1	2	3	14	8	1	2	3	14
(5)	(1)	(2)	(3)	(11)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	教授	准教授	講師	助教	計 (D)
8	1	2	3	14	8	1	2	3	14
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	4 名	4 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{14}{14} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{4}{14} = \boxed{28.57} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし					
合計（D）					後任補充状況の集計（E）		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし					
合計（F）					後任補充状況の集計（G）		
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）					後任補充状況の集計（E）+（G）		
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{0}{14} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等		履 行 状 況	今後の の実施計画
<p>設 置 時 (平成27年8月)</p>	<p>実習の「先修科目」として設けた「臨床実習前学内演習」について、本演習の実施に当たっては、評価方法に客観的臨床能力試験も加えるなど、臨床実習参加の水準が確保されるよう到達水準への到達度を厳格に評価し、本演習の目的を確実に履行すること。</p>	<p>留意事項</p>	<p>申請時のシラバスでは「評価方法」欄に、「①小テスト（計20%）、②定期試験（筆記40%、実技40%）を総合して評価する。」と記載していたが、左記の留意事項を受け、「評価方法」欄等に「なお、実技試験はOSCEによる客観的臨床試験とする。」と追記する予定である。 (28)</p>	<p>履行済</p>
<p>設 置 時 (平成27年8月)</p>	<p>具体的に示された臨床実習に係る助手の採用基準に準じて、臨床実習指導者についても大学教育にふさわしい臨床実習指導者の具体的な採用基準を掲げ、助手の採用基準とともに、適切な運用を着実に履行すること。</p>	<p>留意事項</p>	<p>助手の採用基準は以下の通り定めている。 <ul style="list-style-type: none"> ・職務に必要な理学療法士の資格を有している者。 ・原則として3年以上の臨床経験を有している者。 ・原則として学士以上の学位を有している者。 ・臨床実習の指導に有益な知識や技術を修得している者。なお、その証明として下記に例示する講習や研修を受講していること。 「公益社団法人日本理学療法士協会が主催する臨床実習指導者研修会」 「厚生労働省と（公財）医療研修推進財団が共催する理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成施設教員等講習会」 「各都道府県理学療法士会が主催する臨床実習指導者研修会」 臨床実習指導者についても同様の採用基準とし、大学教育にふさわしい実習指導を行う予定である。 (28)</p>	<p>履行済</p>
<p>設 置 時 (平成27年8月)</p>	<p>完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。</p>	<p>留意事項</p>	<p>本学科の教育研究の水準を維持向上させ、教育研究の活性化を進めるためには、若手教員の採用・育成が不可欠であると考え。よって本学科の教員組織編製の将来構想としては、大学設置基準に定められた教授数を遵守しながら、「若手教員」の比重を高め、可能な限り「若手教員」「中堅教員」「ベテラン教員」のバランスが均等となる教員組織を目指すこととした。 (28)</p>	<p>履行済</p>

<p>設置計画 履行状況調査時 (平成29年2月)</p>	<p>人間科学部理学療法学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。</p>	<p>是正意見</p>	<p>本学科の教育研究の水準を維持向上させ、教育研究の活性化を進めるためには、若手教員の採用・育成が不可欠であると考え。よって本学科の教員組織編製の将来構想としては、大学設置基準に定められた教授数を遵守しながら、「若手教員」の比重を高め、可能な限り「若手教員」「中堅教員」「ベテラン教員」のバランスが均等となる教員組織を目指すこととした。(29)</p>	<p>履行済</p>	
<p>設置計画 履行状況調査時 (平成29年2月)</p>	<p>同一設置者が設置する既設学部等（人間科学部社会福祉学科、健康心理学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満になっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p>改善意見</p>	<p>学生確保については大学全体の喫緊の課題として認識しており、次年度も全教職員で学生募集活動に臨む予定である。 具体的には、以下の取り組みを行う。 1. オープンキャンパスのプログラムを見直し、参加者からの出願率を向上させる。 2. ホームページをリニューアルし、タイムリーな情報発信に努める。 3. 高校訪問スタッフによる関西圏への訪問強化。 4. 関西圏以外への高校訪問の強化。 また、将来の学科改組に併せて入学定員の見直しも検討する予定である。(29)</p>	<p>履行済</p>	
<p>設置計画 履行状況調査時 (平成30年2月)</p>	<p>同一設置者が設置する既設学部等（人間科学部社会福祉学科、医療福祉学科、子ども保育学科、健康心理学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満になっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p>是正意見</p>	<p>学生確保については大学全体の喫緊の課題として認識しており、今年度も全教職員で学生募集活動に臨む予定である。昨年度の取り組みの結果として、平成30年度入学者数は前年度に対して58名の増加となり、学部全体の定員充足率も74%から86%と向上した。 今年度の具体的な取り組みは以下の通りである。 1. オープンキャンパスのプログラムを充実させ、参加者からの出願率を向上させる。 2. ホームページにおける各学科のタイムリーな情報発信に努める。 3. 高校訪問スタッフによる関西圏への訪問強化。 4. 関西圏以外への高校訪問の強化。 また、平成32年度の学科改組に併せて入学定員の見直しも検討しているところである。(30)</p>	<p>履行済</p>	

設置計画 履行状況調査時 (平成31年3月)	該当なし			
------------------------------	------	--	--	--

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

＜人間科学部 理学療法学科＞

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
特に該当なし	特に該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

本学では開学以来「FD委員会」を設置し、FD活動を推進してきた。委員長は教学部長であり、各学科の代表委員と幹部事務職員でその活動を行っている。なお、平成29年度からはSDの義務化に対応するために「FD委員会」と「SD委員会」を統合し、「FD・SD委員会」として活動を行っている。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

「FD・SD委員会」は毎月1回の定例委員会を開催している。参加メンバーは、教学部長を委員長とし、各学科から教員が1名ずつ委員となっている。定例委員会の教員の参加率は100%に近い。また、年に1回以上は委員会主催の「FD・SD研修会」を全教職員対象に実施している。平成30年度は5月24日に「教育評価の考え方と実際」というテーマで実施し教職員併せて100名の参加があった。また、平成31年3月7日には「教員相互の授業参観報告書結果より選出された3名の教員による授業の工夫についての報告会」が開催され教職員併せて69名の参加があった。

c 委員会の審議事項等

平成30年度の「FD・SD委員会」は、①「学生による授業評価」の実施について、②FD・SD研修会について、③新任教員オリエンテーションの開催について、④FD・SDニュースの発行について、⑤学生生活実態調査の実施について、⑥ピアレビュー・グループ活動について、⑦学外の各種FD研修会や他大学の取り組み研究などについて、実施の準備から実施結果の反省まで討議・審議を行った。

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 新任教員オリエンテーション研修会(4月)
- ・ 学生生活実態調査(6月)
- ・ FD・SD研修会(5月、3月)
- ・ 学生による授業評価(7月、1月)
- ・ FDニュースの発行(3月)
- ・ 教員相互による授業参観月間の実施(7月～12月)

b 実施方法

- ・ 「新任教員オリエンテーション研修会」は、平成26年度以降毎年4月に実施し、新任教員が参加している。
- ・ 「学生生活実態調査」は平成22年度以降毎年度実施し、学生生活の実態及び学修時間の把握に努めている。
- ・ 「FD・SD研修会」は平成30年度は5月24日と3月7日に「教育評価の実際」と「教育のピアレビュー」をテーマに実施し、各回教職員併せて60名を超える参加があった。
- ・ FD・SDニュースは、大学の取り組みを広くステークホルダーに広報する目的で、学生の保護者にも送付を行っている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 「新任教員オリエンテーション研修会」は、平成30年度は7名中5名が、平成31年度は4名全員が参加した。
- ・ 「学生生活実態調査」は本学の学生の約80%が回答した。（在学者数1303名、回収1049名）
- ・ 「FD・SD研修会」には5月、3月とも教職員併せて60名を超える参加者があった。
- ・ 「学生による授業評価」では、非常勤も含め9割以上の教員が実施した。
- ・ 「教員相互の授業参観」では、全ての専任教員において実施された。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

年2回実施している学生による授業評価は定着している。学生にフィードバックするとともに、教員自身の自分の授業を見つめてもらう目的で、リフレクションペーパーを提出してもらっている。
また平成30年度も教員同士の「ピアレビュー・グループ活動（教員相互の授業参観）」について取り組み、平成30年7月～12月にかけて全ての専任教員において実施され、事後の報告書も全教員から提出された。
さらに、平成25年度から積極運用を開始した「学修ポートフォリオ」の活用についてもその活用状況調査を実施し、全学本格運用に向けて取り組む予定である。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

学生による授業評価は、平成16年度より、毎年度2回（前期と後期）に実施している。その結果は、当該教員にフィードバックされ、授業改善に役立てることとしている。平成17年度より、専任教員には義務化された。また、非常勤の教員が担当する授業の学生による授業評価の実施は、当該教員の意志に任されていたが、平成22年度より自己点検・評価委員会より積極的実施を依頼し、9割以上の非常勤教員の授業において実施されている。

b 教員や学生への公開状況、方法等

結果の利用については、平成16年から19年までは当該教員にのみ返却されていたが、平成20年度より、学部長、各学科長が閲覧することとした。平成24年度以降は毎年、学内SNSであるユニバーサルパスポート上で学生及び教職員にも公開している。また、平成30年度後期からはユニバーサルパスポート上での公開に加えて、大学ホームページでも全体の集計結果を公開している。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

① 体制

- a 委員会の設置状況（各区分を踏まえた委員構成を踏まえた委員の追加や交代状況含む）
- b 委員会の開催状況（回数や開催日など）
- c 委員会の審議事項等
- d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学は、建学の精神「敬・信・愛」に基づき、「自立と共生の心を培う人間教育」を教育理念としている。また教育目標は、「人間性豊かな幅広い知識を持った専門職業人」を育成することであり、本学が捉える人間科学は、これまでの学問としての人間科学の知見の上に立脚した、実践に軸足を置いた人間科学である。

本学は平成28年度に「理学療法学科」を設置し、6学科体制となった。併せて「大阪人間科学大学・新中期計画（平成28年度～31年度）」をあらたに定め、教育目標、人材養成目標を達成すべく活動を開始した。そして、自己点検・評価委員会が定期的に計画の進捗状況を研究科、各学科・専攻及び各種委員会より報告を受け、年度ごとの達成目標と照らし合わせ、計画の見直しを行っている。その結果は教授会で報告され、全教職員に周知されている。

このように、教育目標、人材養成目標を達成すべき立案された「新・中期計画」が、学長を議長とする自己点検・評価委員会を中心として、PDCAサイクルが回るような仕組みになっている。

今後も「新・中期計画」に掲げられた「5つの重点項目」、すなわち、
1：しっかりと勉強できる教育を提供するために必要な取組み
2：成長を実感できるために必要な取組み
3：結果を得ることができるとするために必要な取組み
4：ブランドイメージを確立し、学生定員を確保するために必要な取組み
5：重点項目1～4までを円滑に実施するために組織として必要な取組み
を実際にも実現し、喫緊の課題である定員の充足に向けて、全学で取り組む。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成30年3月20日 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上で公開中 (<http://www.ohs.ac.jp/>)

③ 認証評価を受ける計画

・平成29年度に評価機関（公益財団法人日本高等教育評価機構）による大学機関別認証評価を受審し、「大学評価基準に適合しているとの認定」を得た。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 (有 無)

b 公表有の場合の公表（予定）時期 (令和元年5月末日)

b 公表無の場合の特段の理由 ()

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。